令和７年度第４回鳥取県原子力安全顧問会議資料

資料３－１

島根原子力発電所及び人形峠環境技術センター周辺環境放射線等測定結果（速報）

（令和７年度　第１～３四半期）

令和８年３月

鳥　取　県

まえがき

鳥取県では、「令和７年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所及び人形峠環境技術センター周辺）」に基づき、原子力施設周辺の環境放射線監視を実施しています。

本報告書は、令和７年４月から令和７年１２月までの第１～３四半期の監視結果について、「鳥取県原子力安全顧問ワーキンググループ（モニタリング分野）」において検討し、確認されたものを速報としてとりまとめたものです。

目　次

まえがき

令和７年度平常時モニタリング測定結果（第１～３四半期） ページ

【Ⅰ　島根原子力発電所周辺】

１　目的区分 ……………………………………………1
２　測定概要 ……………………………………………1
（１）概要 ……………………………………………1
（２）実施機関 ……………………………………………1
（３）実施内容 ……………………………………………1
（４）測定結果の評価方法 ……………………………………………1
３　令和７年度測定結果（第１～３四半期） ……………………………………………6
（１）測定結果概要 ……………………………………………6
（２）測定項目別の結果 ……………………………………………13

【Ⅱ　人形峠環境技術センター周辺】

１　目的区分 ……………………………………………25
２　測定概要 ……………………………………………25
（１）概要 ……………………………………………25
（２）実施機関 ……………………………………………25
（３）測定項目等 ……………………………………………25
（４）測定結果の評価方法 ……………………………………………25
３　令和７年度測定結果（第１～３四半期） ……………………………………………29
（１）測定結果概要 ……………………………………………29
（２）測定項目別の結果 ……………………………………………33

【Ⅲ　平常の変動幅超過に係る検証】

検証１　米子局における降下物中の Cs-137 の検出について ……………………………………………39

【Ⅳ　参考資料】

１　環境試料中の放射性核種の検出下限（定量下限）値 ……………………………………………44
（１）島根原子力発電所周辺 ……………………………………………44
（２）人形峠環境技術センター周辺 ……………………………………………49
２　気象測定結果 ……………………………………………50
（１）島根原子力発電所周辺 ……………………………………………50
（２）人形峠環境技術センター周辺 ……………………………………………57

令和７年度平常時モニタリング測定結果（第１～３四半期）
【Ⅰ　島根原子力発電所周辺】

１　目的区分

鳥取県における島根原子力発電所周辺の環境放射線測定は、「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）」（以下「補足参考資料（平常時）」という。）に示す平常時モニタリングの目的のうち、次に掲げる目的において実施する。

なお、補足参考資料（平常時）の最低限実施が必要な項目には該当しないが、環境中の経時変化を把握する上で参考となる項目又は測定技術の保持が必要と考えられる項目については、「(参考)」として測定を継続する。

④　　緊急事態が発生した場合への平常時からの備え

（参考）環境中の経時変化の把握又は測定技術の保持

２　測定概要

（１）概要

境港市及び米子市に設置している固定型及び可搬型モニタリングポスト、蛍光ガラス線量計によって空間放射線の測定を行うとともに、さらに固定型モニタリングポストでは、大気浮遊じんの全α及び全β放射能濃度測定を行った。また、環境試料中の放射性核種濃度の変動を把握するために、大気浮遊じん、降下物、陸水、土壌、植物等の核種分析を行った。

（２）実施機関

鳥取県原子力環境センター

民間測定事業者（委託分析）

（３）実施内容

令和７年度第１～３四半期の平常時モニタリングは、令和７年度環境放射線等測定計画に基づき実施した。当該計画の主な内容は、以下のとおりである。

ア　測定計画

表Ⅰ－２－１のとおり。

イ　測定地点

図Ⅰ－２－１、図Ⅰ－２－２のとおり。

ウ　測定方法及び測定機器

表Ⅰ－２－２のとおり。

（４）測定結果の評価方法

環境放射線等測定結果の評価は、測定項目及び地点ごとに、詳細調査を開始するための閾値として過去の測定結果より「平常の変動幅」を設定し、四半期ごとに取りまとめた測定結果が「平常の変動幅」を超過した場合には、原子力施設の影響、気象や自然放射性核種等の影響などについて要因の調査を行う。

なお、「平常の変動幅」を設定するためのデータの蓄積が少ないものについては、本調査結果に加え、全国の調査結果等を参考に評価を行う。

表Ｉ－２－１　令和７年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所周辺）

１　空間放射線

項目区分	目的区分	測定地点	測定地点	測定期間	測定件数	測定機器	測定方法
空間放射線量率	④	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	－	NaI(Tl)シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」
	④	境港市外江町(外江公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市彦名町(彦名公民館) 米子市大篠津町(大篠津公民館) 米子市夜見町(夜見公民館)	7	連続測定	－	NaI(Tl)シンチレーション検出器 (可搬型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」
積算線量	(参考)	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局) 境港市外江町(外江公民館) 境港市渡町(渡公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市大崎(崎津公民館) 米子市彦名町(彦名公民館)	9	4～6月 7～9月 10～12月 1～3月	36	蛍光ガラス線量計	放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線測定法」

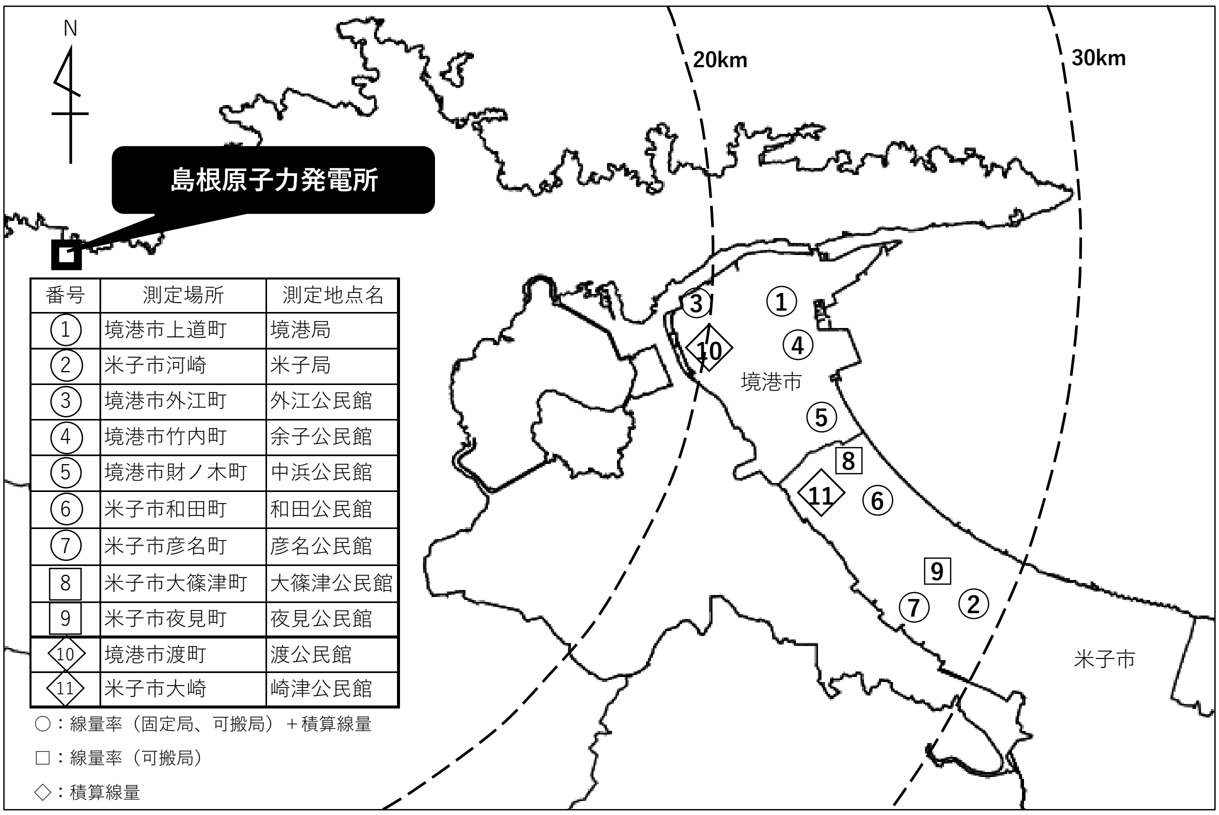
※　７カ所に設置している可搬型モニタリングポストは、緊急時における OIL 判断に使用するとともに、放射線に係る理解向上など普及啓発と広報を目的に、平常時から空間放射線量率の測定・データ公開を行っている。

２　大気浮遊じん全α及び全β放射能

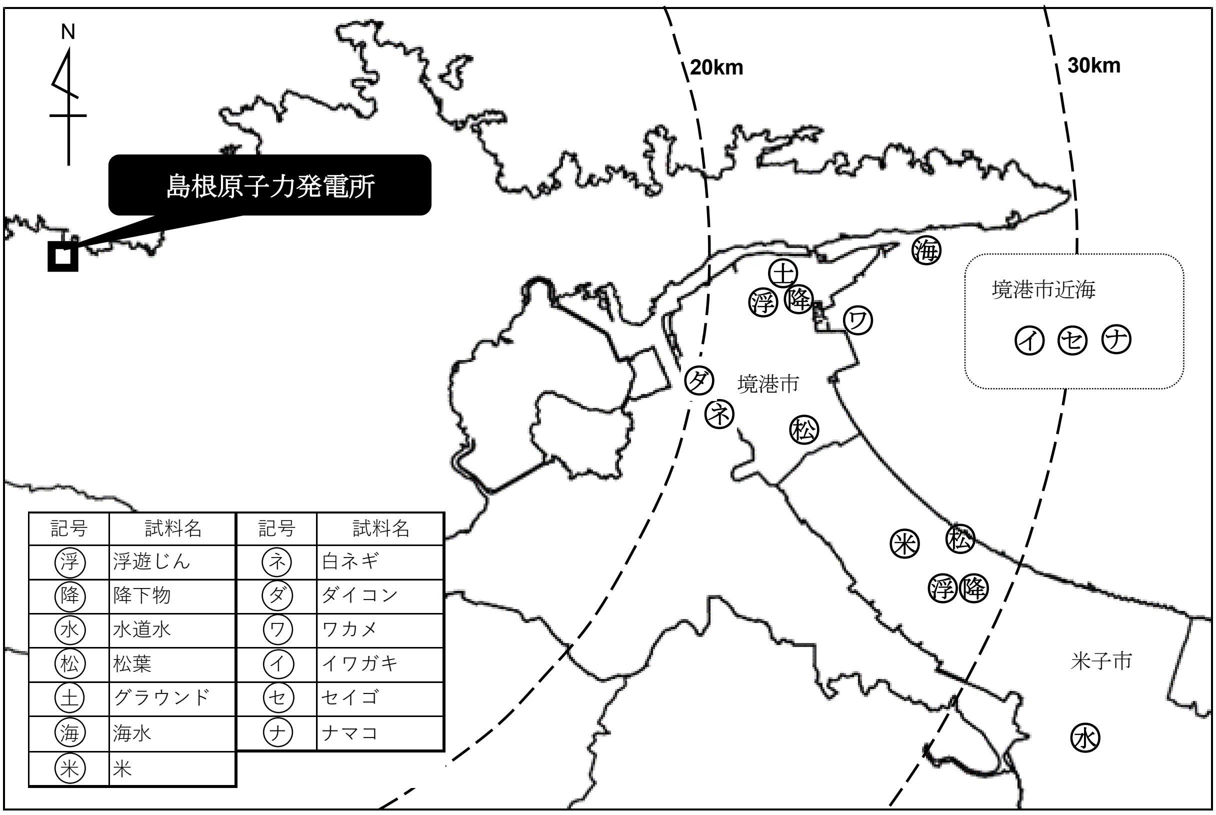
項目区分	目的区分	測定地点	測定地点	測定期間	測定件数	測定機器	測定方法
大気浮遊じん放射能	(参考)	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	－	ZnS(Ag)＋プラスチックシンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト)	放射線測定法シリーズ「全β放射能測定法」 JISZ4316「放射性ダストモニタ」

３　環境試料中の放射性核種分析

項目区分	試料	部位	目的区分	採取地点	採取頻度		測定項目/件数			測定機器	測定方法
					頻度	採取月	γ核種	H-3	Sr-90		
大気	浮遊じん	－	(参考)	境港市上道町（境港局)	毎月		12			γ線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」
				米子市河崎（米子局)			12				
降下物	降下物	－	(参考)	境港市上道町（境港局)	毎月		12			γ線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」
				米子市河崎（米子局)			12				
陸水	水道水	蛇口水	④	境港市上道町	3年毎 年2回	R8				γ線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器 H-3(委託分析): 低バックグラウンド液体シンチレーションカウンタ Sr-90: 低バックグラウンドベータ線測定装置	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」 H-3: 放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」 Sr-90: 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」
				米子市河崎		R9					
		原水	④	米子市福市		5,11月	2	2	2		
植物	松葉	二年葉	(参考)	境港市幸神町	年1回	10月	1			γ線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」
				米子市夜見町	年1回	10月	1				
土壌	公園	表層	④	境港市馬場崎町	2年毎 年1回	7月	1		1	γ線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器 Sr-90: 低バックグラウンドベータ線測定装置	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」 Sr-90: 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」
	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ		④	米子市河崎		R8					
海水	海水	表層水	④ (参考)	境港市昭和町	2年毎 年2回	5,11月	2	2		γ線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器 H-3(委託分析): 低バックグラウンド液体シンチレーションカウンタ	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」 H-3: 放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」
				米子市大篠津町		R8					
農産物	米	精米	(参考)	米子市夜見町	年1回	10月	1			γ線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」
	白ネギ	可食部	(参考)	境港市中海干拓地	年1回	12月	1				
	ﾀﾞｲｺﾝ	根	(参考)	境港市中海干拓地	年1回	12月	1				
海産生物	ワカメ	可食部	(参考)	境港市近海	年1回	4月	1			γ線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」
	ｲﾜｶﾞｷ	身	(参考)	境港市近海	年1回	7月	1				
	セイゴ	身	(参考)	境港市近海	年1回	1月	1				
	ナマコ	身	(参考)	境港市近海	年1回	3月	1				
						合計	62	4	3		



図Ⅰ－２－１　空間放射線量率測定地点



図Ⅰ－２－２　環境試料採取地点

表Ｉ－２－２　測定方法及び測定機器

<table>
<tr><th colspan="3">調査項目</th><th>測定方法</th><th>測定機器</th></tr>
<tr><td rowspan="2">空間放射線</td><td>空間放射線量率</td><td>NaI 放射線量率測定装置</td><td>連続測定

放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」</td><td>NaI(Tl)シンチレーション検出器
(固定型モニタリングポスト)
日立製作所製　MSR-R54-21545R1
(可搬型モニタリングポスト)
富士電機製　NAH37401-B-BY2YY-S
日立製作所製　MAR-1561BR3</td></tr>
<tr><td>積算線量</td><td>積算線量計</td><td>3ヶ月間毎の連続測定

放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線測定法」</td><td>蛍光ガラス線量計(RPLD)
千代田テクノル製　ガラス線量計素子</td></tr>
<tr><td>大気</td><td>浮遊じん放射能</td><td>放射性ダストモニタ</td><td>連続測定

放射線測定法シリーズ「全β放射能測定法」JISZ4316「放射性ダストモニタ」
(200 L/分で3時間集じん後、3時間測定)</td><td>ZnS(Ag)＋プラスチックシンチレーション検出器
日立製作所製　DSM-RC52-20089-1</td></tr>
<tr><td rowspan="12">環境試料中放射性核種</td><td>浮遊じん</td><td>捕集フィルター</td><td rowspan="8">γ線スペクトロメトリー

放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」</td><td rowspan="8">ゲルマニウム半導体検出器
セイコー・イージーアンドジー製
GEM30-70</td></tr>
<tr><td>降下物</td><td>濃縮物</td></tr>
<tr><td>陸水</td><td>水試料/濃縮物</td></tr>
<tr><td>植物</td><td>灰化物</td></tr>
<tr><td>土壌</td><td>生試料/風乾物</td></tr>
<tr><td>海水</td><td>吸着物</td></tr>
<tr><td>農産物</td><td rowspan="2">生試料/灰化物※1</td></tr>
<tr><td>海産生物</td></tr>
<tr><td>陸水</td><td rowspan="2">水試料</td><td rowspan="2">トリチウム分析

放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」</td><td rowspan="2">低バックグラウンド液体シンチレーション測定装置
(委託分析により実施)</td></tr>
<tr><td>海水</td></tr>
<tr><td>陸水</td><td rowspan="2">化学処理後の沈殿物</td><td rowspan="2">放射化学分析

放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」</td><td rowspan="2">低バックグラウンドベータ線測定装置
日立製作所製　LBC-4501</td></tr>
<tr><td>土壌</td></tr>
</table>

※１　生試料を測定後、灰化処理して再度測定

３　令和７年度測定結果（第１～３四半期）

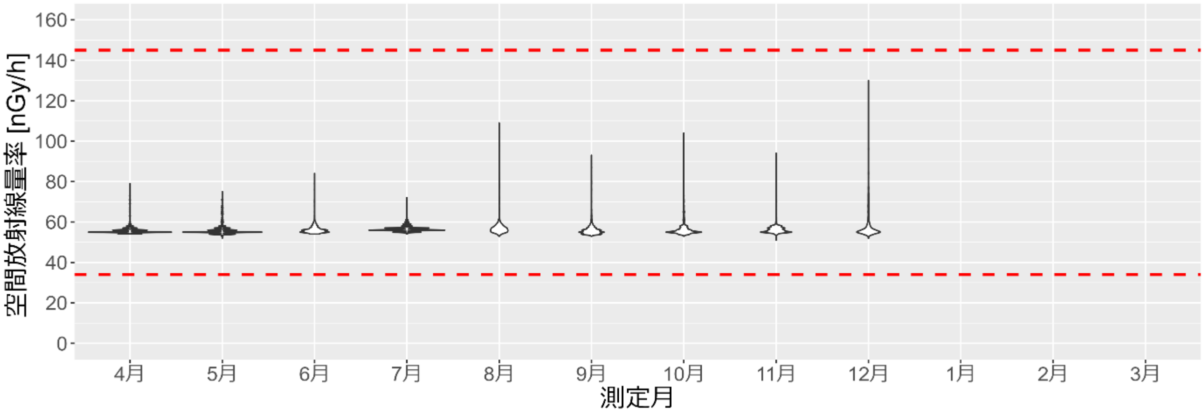
（１）測定結果概要

令和７年度第1～3四半期の島根原子力発電所に係る平常時モニタリング結果については、概ね過年度の測定結果と同レベルであり、原子力施設からの影響は認められなかった。

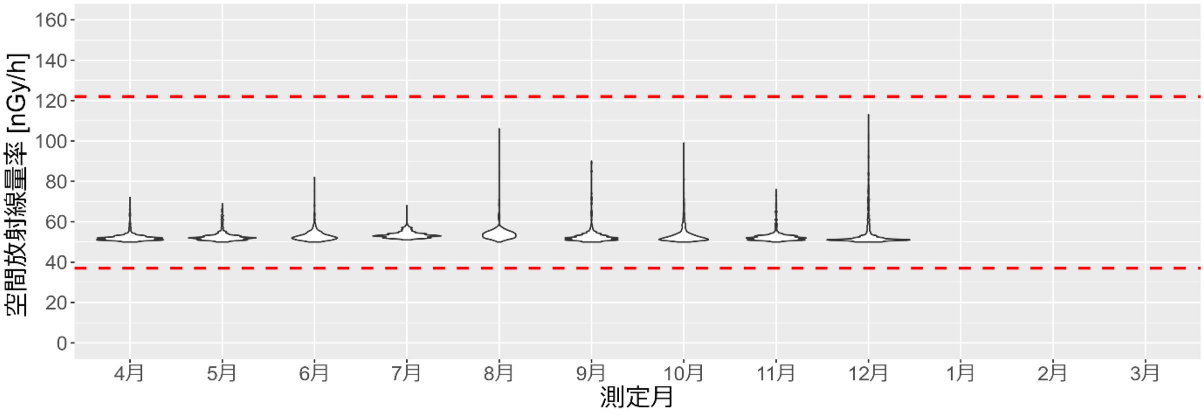
ア　空間放射線

（ア）空間放射線量率連続測定（固定型モニタリングポスト）

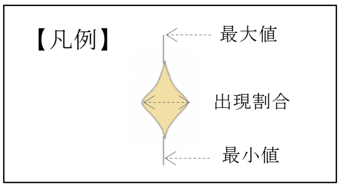
固定型モニタリングポスト2地点ともに平常の変動幅の範囲内であった。



境港局

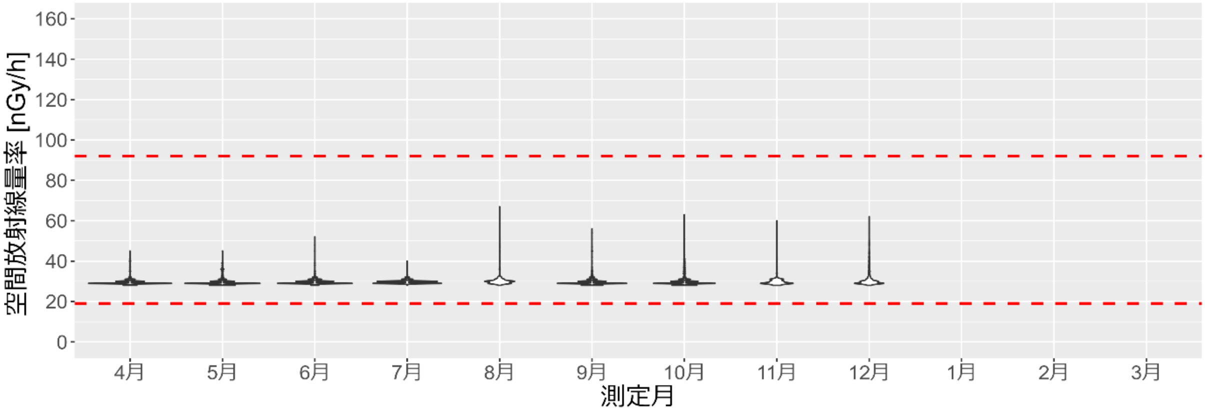


米子局

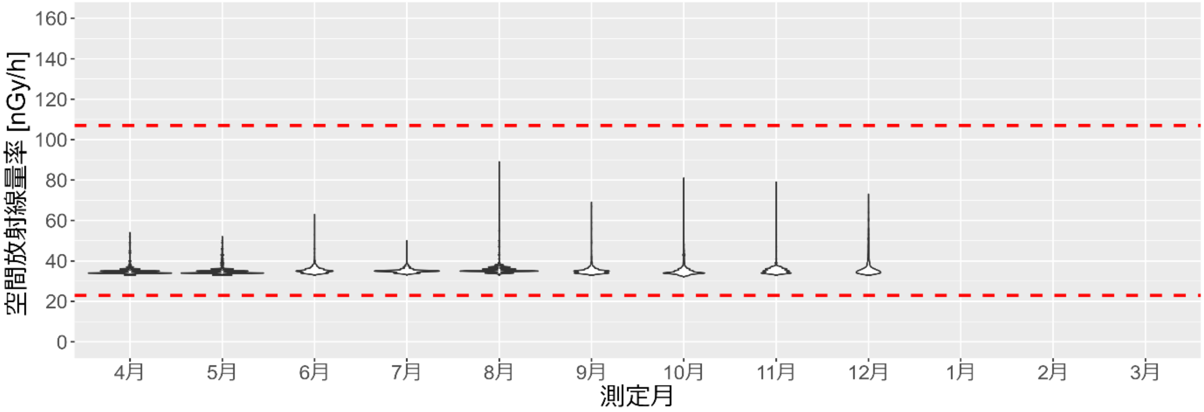


図Ｉ－３－１ａ　空間放射線量率連続測定結果（固定型モニタリングポスト）

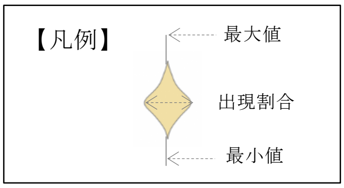
（参考）緊急時の可搬型モニタリングポスト 7 地点の空間放射線量率連続測定結果は、全て平常の変動幅の範囲内であった。



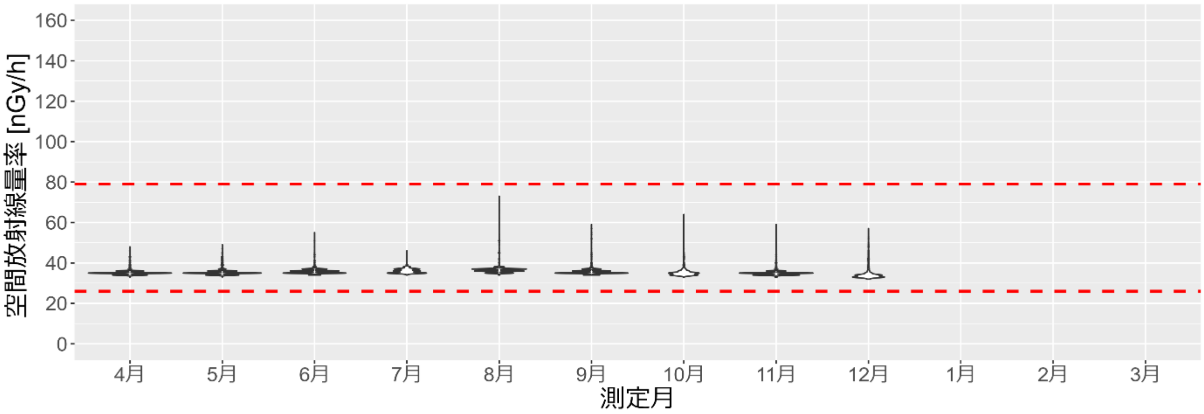
外江公民館



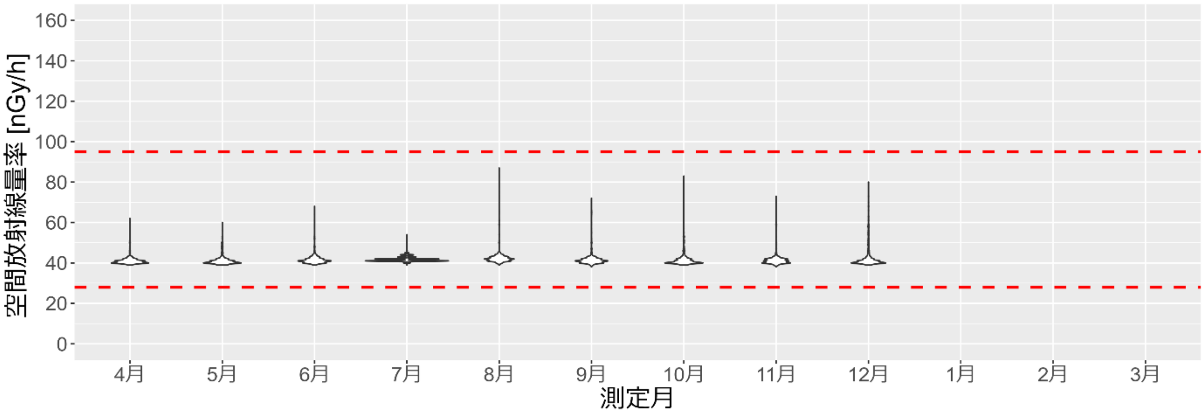
余子公民館



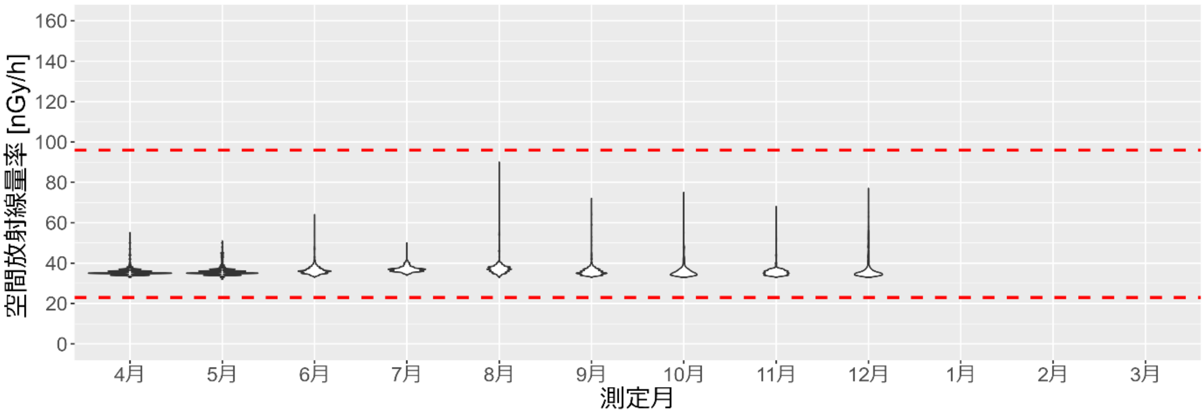
図Ｉ－３－１ｂ　空間放射線量率連続測定結果（可搬型モニタリングポスト）



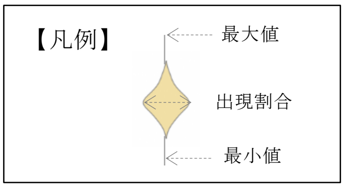
中浜公民館



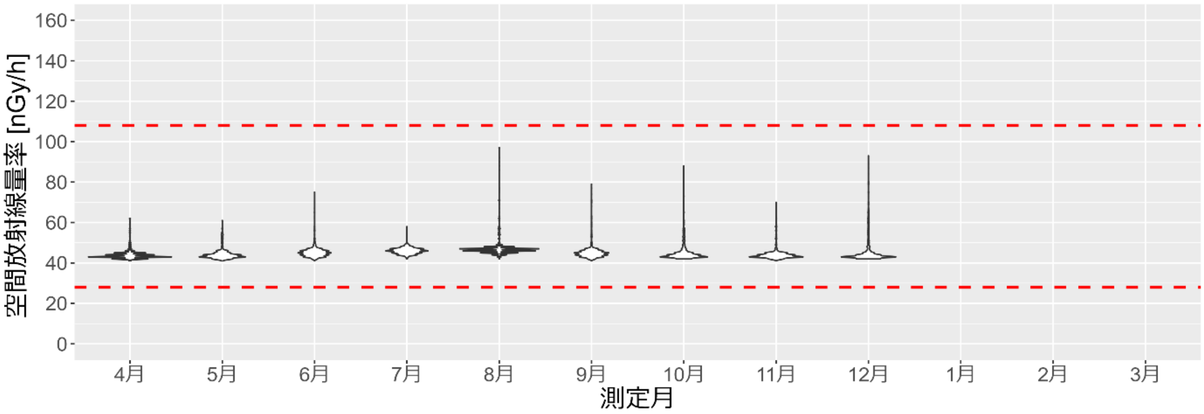
大篠津公民館



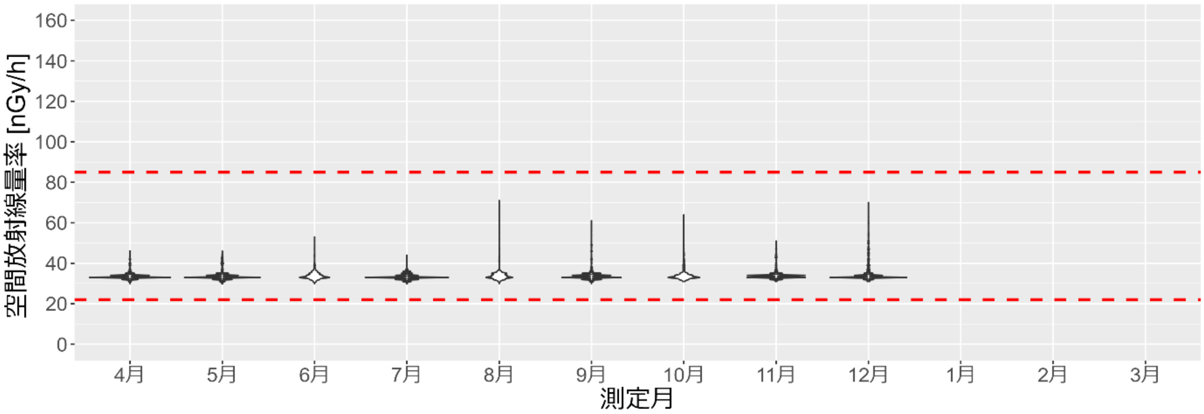
和田公民館



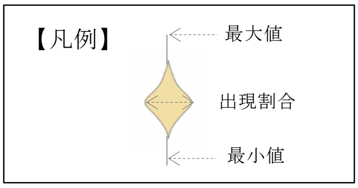
図Ｉ－３－１ｃ　空間放射線量率連続測定結果（可搬型モニタリングポスト）



夜見公民館



彦名公民館



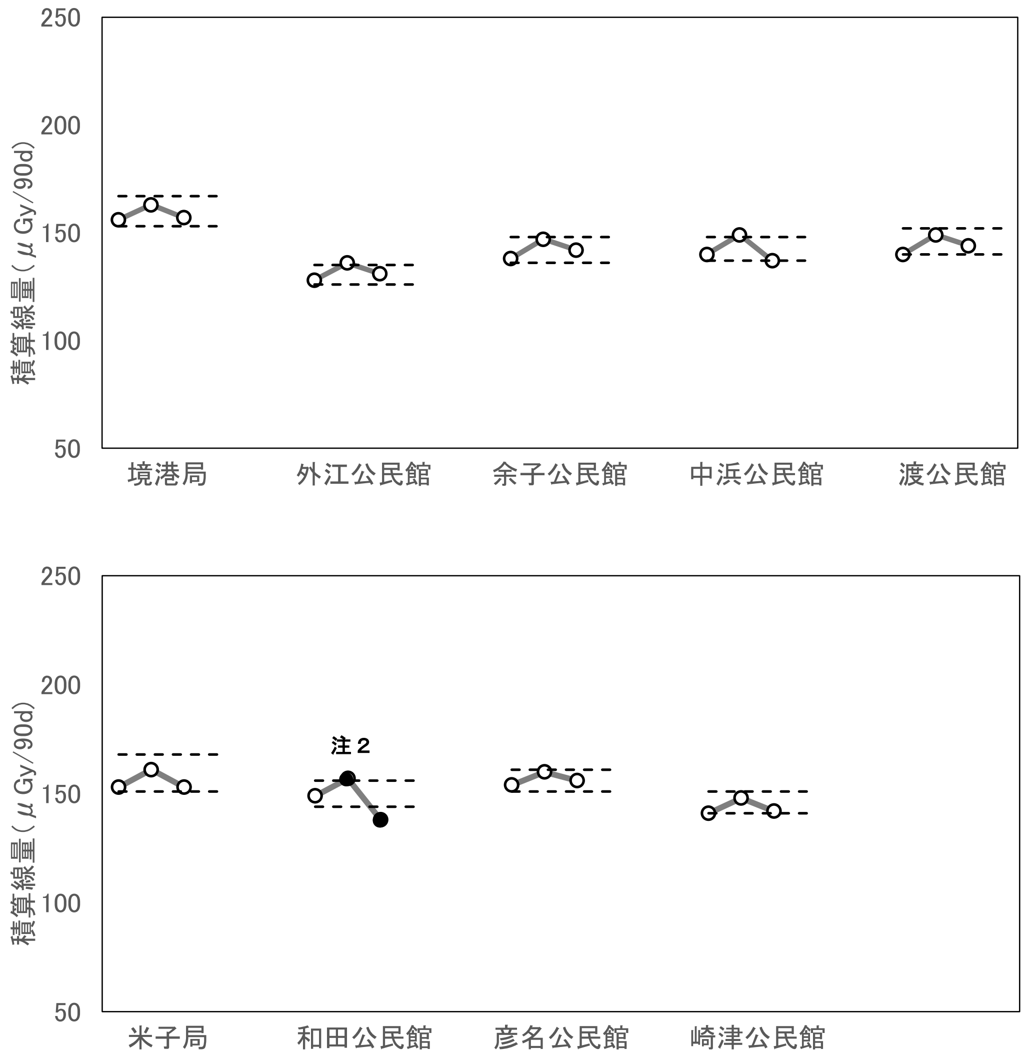
図Ｉ－３－１ｄ　空間放射線量率連続測定結果（可搬型モニタリングポスト）

（イ）積算線量測定

境港局、余子公民館、渡公民館、米子局、彦名公民館及び崎津公民館の 6 地点については、平常の変動幅の範囲内であった。

外江公民館及び中浜公民館の 2 地点は、第 2 四半期に平常の変動幅の上限をわずかに超過したが、これまでの測定結果と同レベルであり、周辺環境の変化が確認されなかったことから、自然変動によるものと考えられた。

なお、和田公民館の第 2 及び第 3 四半期は、RPLD 収納箱の修繕等の影響が疑われるため参考値とする。



注１：○は第 1～3 四半期の測定結果、点線は平常の変動幅を示す。

注２：和田公民館の第 2,3 四半期は、RPLD 収納箱の修繕等の影響が疑われるため参考値とする。

図Ⅰ－３－２　積算線量の測定結果（第 1～3 四半期まで）

イ　大気浮遊じん全α及び全β放射能の連続測定

第 1 四半期の米子局の大気浮遊じん全α放射能の最高値（1,814　mBq/m^3）について、平常の変動幅の上限（1,798 mBq/m^3）を超過した。平成 26 年度の測定開始からの測定実績は 5 ～ 2,481 mBq/m^3 で、過去の測定範囲内にあることから、一時的にラドン子孫核

種の影響が全α放射能の変動に影響した可能性があると考えられた。

境港局の大気浮遊じん全α放射能及び全β放射能並びに米子局の大気浮遊じん全β放射能の連続測定結果は、いずれも平常の変動幅の範囲内であった。

表Ｉ－３－１　大気浮遊じんの全α放射能、全β放射能の概要（第1～3四半期まで）

項目	測定地点	最高値	最低値	平常の変動幅	単位
全α放射能	境港局	1,384	21	6 ～ 1,616	mBq/m^3
	米子局	1,814	11	5 ～ 1,798	
全β放射能	境港局	3,710	52	18 ～ 4,729	
	米子局	4,342	32	18 ～ 4,800	

注１：200L/分で3時間集じん後、3時間測定。
注２：平常の変動幅は、R02～R06年度の5年間の最小値から最大値までの範囲。
注３：下線部は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

ウ　環境試料中の放射性核種

（ア）γ線スペクトロメトリー

米子局で採取した降下物からCs-137（4月:0.18 MBq/km^2、5月:0.48　MBq/km^2）が検出され、5月分が平常の変動幅の上限（0.18 MBq/km^2）を超過した。このことから要因調査を行ったところ、要因の１つとして米子局周辺の圃場の土が混入したことによる影響などが考えられた（Ⅲ 検証１参照(p39)）。

境港市及び米子市で採取した植物(松葉)からCs-137（境港市:0.45 Bq/kg生、米子市:0.077 Bq/kg生）が検出されたが、いずれも平常の変動幅の範囲内（境港市:0.18 ～ 0.79 Bq/kg生、米子市:0.071 ～ 0.18 Bq/kg生）であった。

米子市から採取した農産物(米)から Cs-137 が検出されたが、過去の大気圏内核実験フォールアウト等の影響によるものと考えられた。また、検出されたCs-137（0.10 Bq/kg生）は、平常の変動幅の下限値（0.13 Bq/kg生）を下回った。

その他の試料の分析結果では、測定対象物質は検出されなかった。

表Ｉ－３－２　γ線スペクトロメトリーの分析結果の概要（第1～3四半期まで）

区分	試料数 注１	Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	単位
大気	24(18)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/m^3
降下物	24(18)	ND	ND	ND	ND		ND	0.18, 0.48[注2,3]	MBq/km^2
陸水	2(2)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
植物	2(2)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.077, 0.45	Bq/kg生
土壌	1(1)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	Bq/kg 乾土
海水	2(2)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
農産物	3(3)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	Bq/kg生
海産生物	4(2)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	Bq/kg生

注１：試料数のカッコ内は第1～3四半期までの試料数
注２：下線部は平常の変動幅の範囲外であることを示す。
注３：要因の１つとして米子局周辺の圃場の土壌による影響の可能性が考えられる。

（イ）トリチウム分析

陸水からH-3（0.32 Bq/L）が検出されたが、他測定地点の平常の変動幅の範囲内であり、水道水の過去の測定結果と同レベルであった。

海水からはH-3は検出されなかった。

表Ｉ－３－３　トリチウム（H-3）の分析結果の概要（第1～3四半期まで）

<table>
<tr><th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">試料</th><th colspan="2">境港市上道</th><th colspan="2">米子市河崎</th><th colspan="2">米子市福市</th><th rowspan="2">単位</th></tr>
<tr><th>測定結果</th><th>平常の変動幅</th><th>測定結果</th><th>平常の変動幅</th><th>測定結果</th><th>平常の変動幅</th></tr>
<tr><td rowspan="2">陸水</td><td rowspan="2">水道水</td><td rowspan="2">（令和８年度測定予定）</td><td rowspan="2">ND～0.47</td><td rowspan="2">（令和９年度測定予定）</td><td rowspan="2">ND～0.37</td><td><u>0.32</u></td><td rowspan="2">ND</td><td rowspan="2">Bq/L</td></tr>
<tr><td>ND</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">試料</th><th colspan="2">境港市昭和町</th><th colspan="2">米子市大篠津町</th><th rowspan="2">単位</th></tr>
<tr><th>測定結果</th><th>平常の変動幅（暫定値）</th><th>測定結果</th><th>平常の変動幅</th></tr>
<tr><td rowspan="2">海水</td><td rowspan="2">海水</td><td><u>ND</u></td><td rowspan="2">0.14 ～ 0.18</td><td rowspan="2">（令和８年度測定予定）</td><td rowspan="2">ND～0.39</td><td rowspan="2">Bq/L</td></tr>
<tr><td><u>ND</u></td></tr>
</table>

（ウ）放射化学分析（Sr-90）

今年度より測定を開始した米子市福市の陸水のSr-90測定結果は、0.60及び0.64 mBq/Lであった。全国の環境放射能水準調査における蛇口水のSr-90測定結果（ND ～ 2.6 mBq/L）と比較して同レベルであり、過去の核実験フォールアウト等の影響と考えられた。

また、境港市の土壌（公園）については、Sr-90が検出されなかった。

表Ｉ－３－４　ストロンチウム（Sr-90）の分析結果の概要（第1～3四半期まで）

<table>
<tr><th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">試料</th><th colspan="2">境港市上道</th><th colspan="2">米子市河崎</th><th colspan="2">米子市福市</th><th rowspan="2">単位</th></tr>
<tr><th>測定結果</th><th>平常の変動幅（暫定値）</th><th>測定結果</th><th>平常の変動幅</th><th>測定結果</th><th>平常の変動幅</th></tr>
<tr><td rowspan="2">陸水</td><td rowspan="2">水道水</td><td rowspan="2">（令和８年度測定予定）</td><td rowspan="2">1.0～1.1</td><td rowspan="2">（令和９年度測定予定）</td><td rowspan="2">0.73～0.78</td><td>0.64</td><td rowspan="2">（R07～）</td><td rowspan="2">mBq/L</td></tr>
<tr><td>0.60</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">試料</th><th colspan="2">境港市馬場崎町</th><th colspan="2">米子市河崎</th><th rowspan="2">単位</th></tr>
<tr><th>測定結果</th><th>平常の変動幅</th><th>測定結果</th><th>平常の変動幅</th></tr>
<tr><td rowspan="2">土壌</td><td>公園</td><td><u>ND</u></td><td>0.30 ～ 0.43</td><td></td><td></td><td rowspan="2">Bq/kg 乾土</td></tr>
<tr><td>ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ</td><td></td><td></td><td>（令和８年度測定予定）</td><td>ND～0.47</td></tr>
</table>

注：下線部は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

（２）測定項目別の結果

ア　空間放射線

（ア）空間放射線量率連続測定

表Ｉ－３－５　固定型モニタリングポストの連続測定結果（1時間値）

（単位：nGy/h）

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
境港局	最高値	79	75	84	72	109	93	104	94	130					145
	最低値	54	52	54	54	53	53	53	51	52					34
	平均値	56	56	56	57	58	57	57	57	58					―
米子局	最高値	72	69	82	68	106	90	99	76	113					122
	最低値	50	50	50	51	50	50	50	50	50					37
	平均値	52	53	53	54	55	53	54	53	54					―

注1:「平常の変動幅」:前年度までの5年間(R02～R06)の最小値から最大値までの範囲。

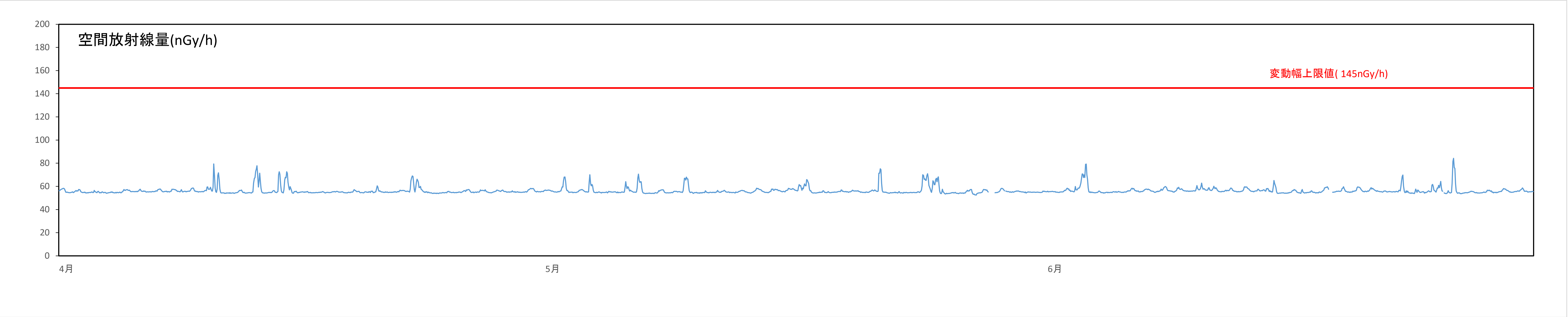
表Ｉ－３－６　可搬型モニタリングポストの連続測定結果（1時間値）

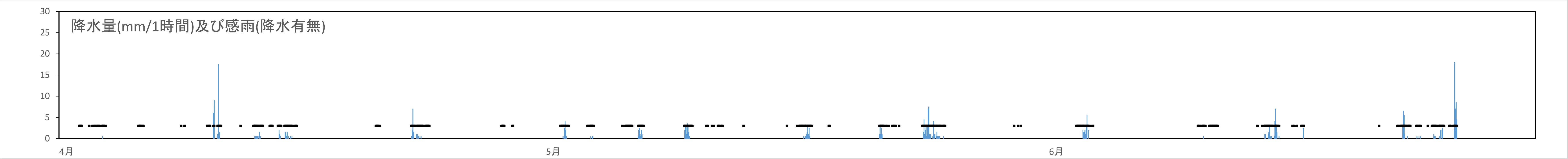
（単位：nGy/h）

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
外江公民館	最高値	45	45	52	40	67	56	63	60	62					92
	最低値	28	28	28	28	28	28	28	28	28					19
	平均値	30	30	30	30	31	30	30	30	32					－
余子公民館	最高値	54	52	63	50	89	69	81	79	73					107
	最低値	33	33	33	33	33	33	32	33	33					23
	平均値	35	35	36	35	37	36	36	36	38					－
中浜公民館	最高値	48	49	55	46	73	59	64	59	57					79
	最低値	33	33	34	34	34	34	33	33	32					26
	平均値	35	36	36	36	37	36	36	36	35					－
大篠津公民館	最高値	62	60	68	54	87	72	83	73	80					95
	最低値	39	39	39	39	39	38	39	38	39					28
	平均値	41	41	42	42	43	42	42	42	43					－
和田公民館	最高値	55	51	64	50	90	72	75	68	77					96
	最低値	33	32	33	34	33	33	33	33	33					23
	平均値	36	36	37	37	38	36	36	36	37					－
夜見公民館	最高値	62	61	75	58	97	79	88	70	93					108
	最低値	41	41	41	42	42	41	42	41	42					28
	平均値	44	44	45	46	47	45	45	45	46					－
彦名公民館	最高値	46	46	53	44	71	61	64	51	70					85
	最低値	30	30	30	30	30	30	31	31	31					22
	平均値	34	34	34	33	35	34	35	34	35					－

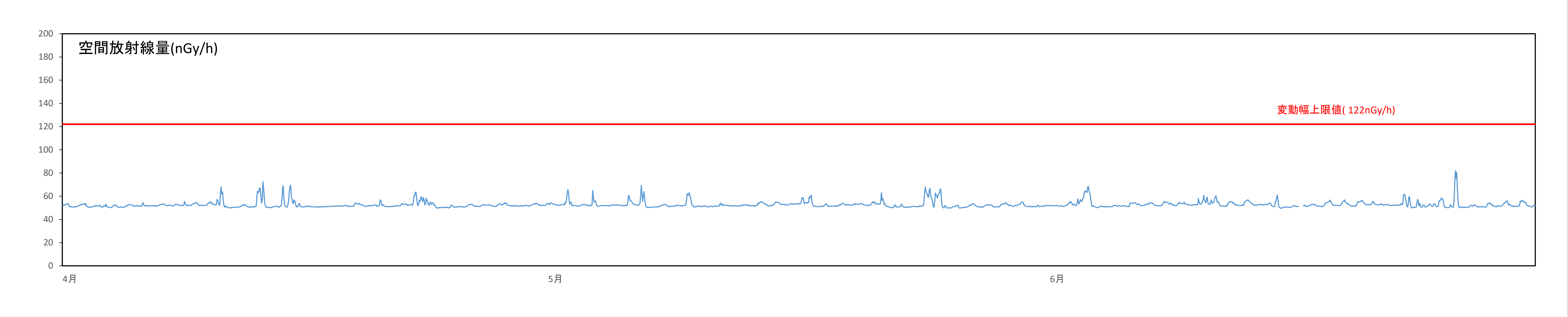
注1:「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(R02～R06)の最小値から最大値までの範囲。

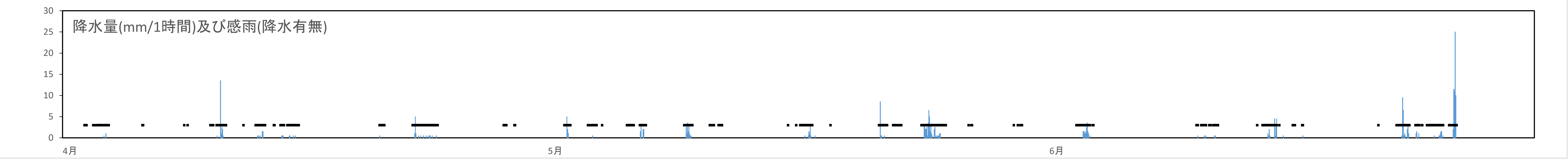
境港局





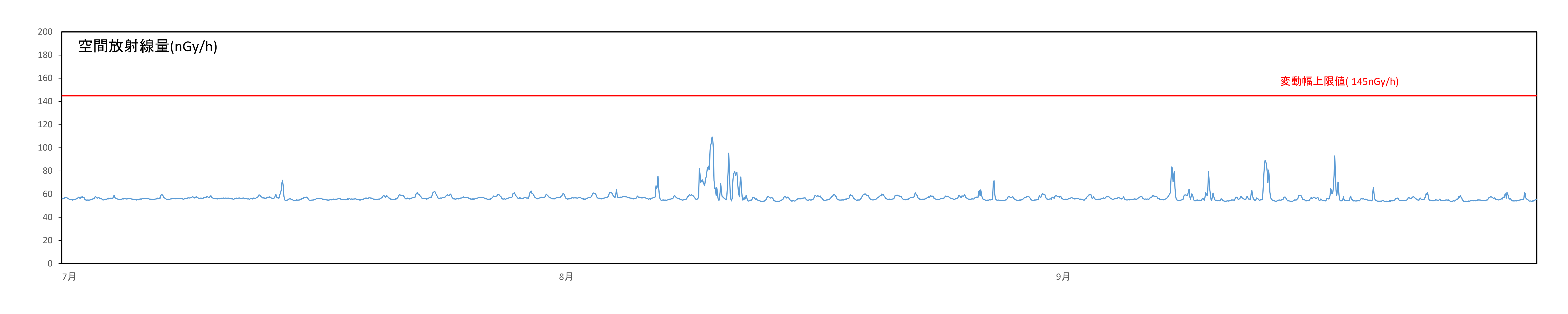
米子局

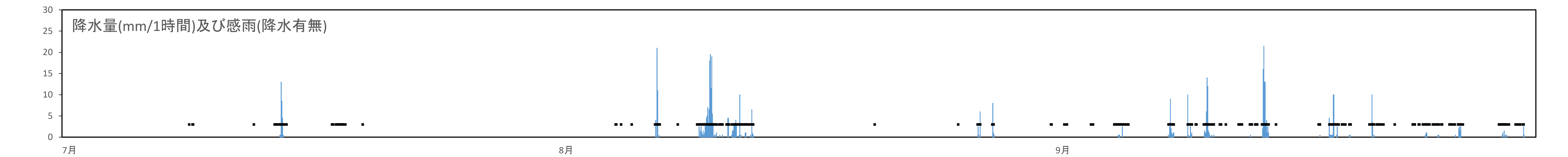




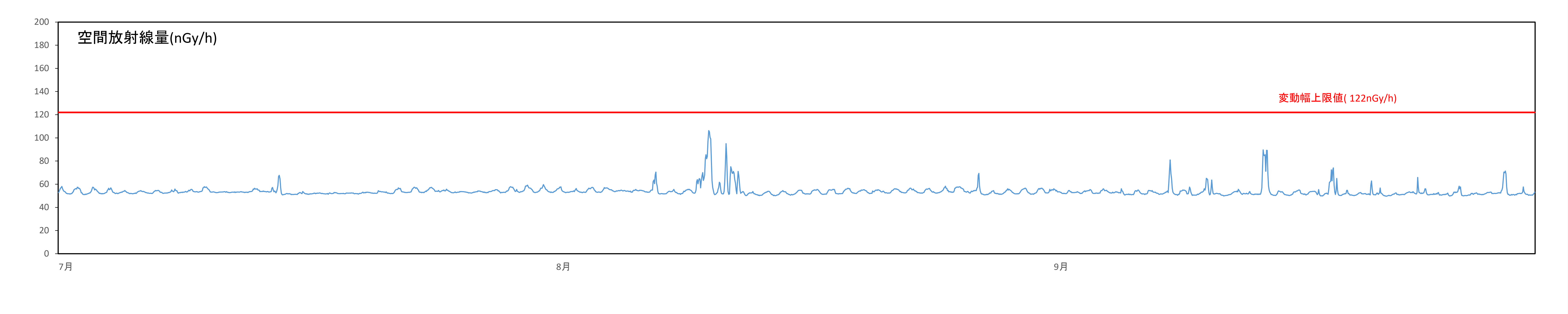
図Ⅰ－３－３a　空間放射線量率と降水量の関係（令和7年度第1四半期、1時間値）

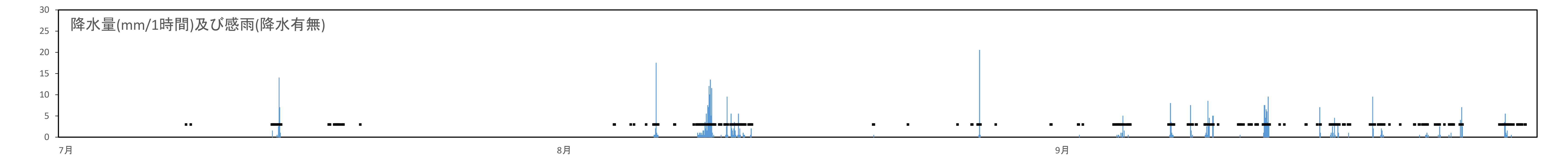
境港局





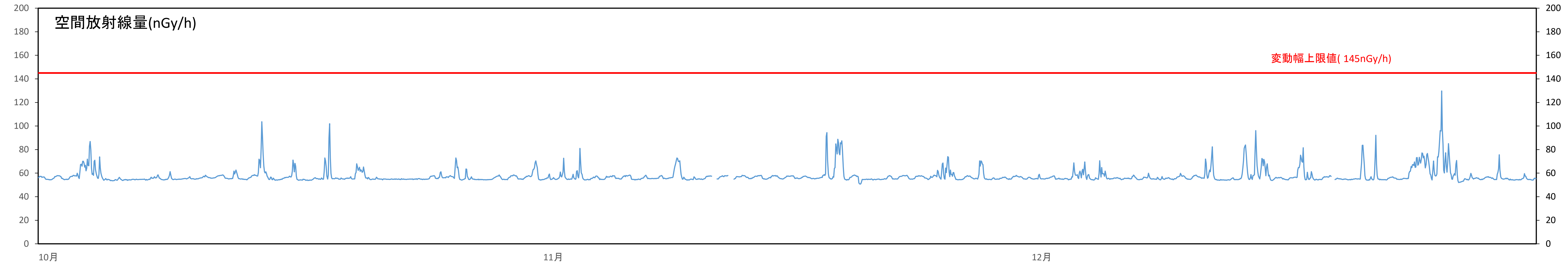
米子局

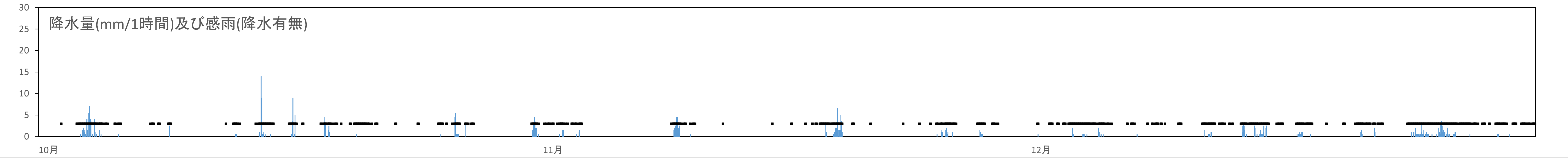




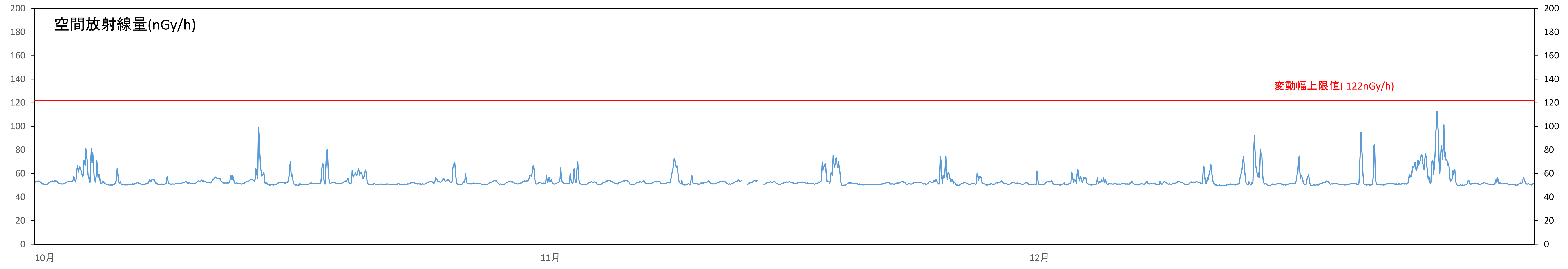
図Ｉ－３－3b　空間放射線量率と降水量の関係（令和7年度第2四半期、1時間値）

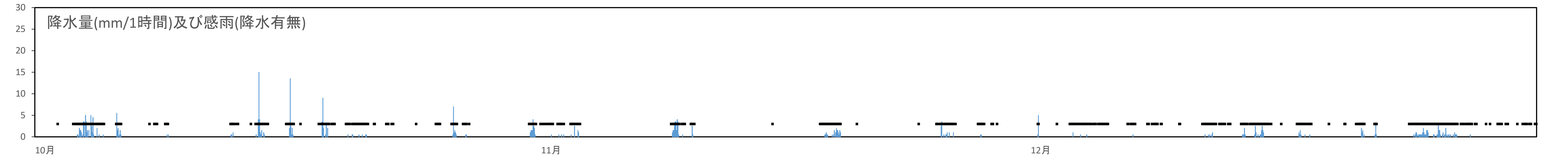
境港局





米子局





図Ｉ－３－３ｃ 空間放射線量率と降水量の関係（令和7年度第3四半期、1時間値）

（イ）積算線量測定

表Ⅰ－３－７　積算線量の測定結果

（単位：上段　μGy/90d、下段 μGy/h）

測定地点	第１四半期（４～６月）	第２四半期（７～９月）	第３四半期（10～12月）	第４四半期（１～３月）	平常の変動幅（暫定値）	年間線量（mGy/365d）
境港局	156 (0.072)	163 (0.075)	157 (0.073)		153 ～ 167 (0.071 ～ 0.077)	
米子局	153 (0.071)	161 (0.075)	153 (0.071)		151 ～ 168 (0.070 ～ 0.078)	
外江公民館	128 (0.059)	<u>136</u> (0.063)	131 (0.061)		126 ～ 135 (0.058 ～ 0.063)	
余子公民館	138 (0.064)	147 (0.068)	142 (0.066)		136 ～ 148 (0.063 ～ 0.069)	
中浜公民館	140 (0.065)	<u>149</u> (0.069)	137 (0.063)		137 ～ 148 (0.063 ～ 0.068)	
和田公民館	149 (0.069)	<u>157</u> 注4 <u>(0.073)</u>	<u>138 注4</u> <u>(0.064)</u>		144 ～ 156 (0.067 ～ 0.072)	
彦名公民館	154 (0.071)	160 (0.074)	156 (0.072)		151 ～ 161 (0.070 ～ 0.075)	
渡公民館	140 (0.065)	149 (0.069)	144 (0.067)		140 ～ 152 (0.065 ～ 0.076)	
崎津公民館	141 (0.065)	148 (0.069)	142 (0.066)		141 ～ 151 (0.066 ～ 0.070)	

注1：「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過して
　　ため、暫定値（H28～R06年度）とする。
注2：下段（　）内の数値は、当該期間における1時間当たりの線量率に換算したもの。
注3：下線部は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。
注4：和田公民館の第2及び第3四半期については、収納箱の修繕の影響が疑われるため、参考値とする。

イ　大気浮遊じん全α及び全β放射能の連続測定

表Ｉ－３－８　大気浮遊じんの測定結果

（単位：mBq/m^3）

項目	地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
全α放射能	境港局	最高値	1,146	942	1,380	1,350	1,173	1,058	995	1,384	1,280					1,616
		最低値	21	28	28	22	32	22	33	53	32					6
		平均値	248	218	284	218	283	199	220	439	337					
	米子局	最高値	1,094	1,360	1,814	1,702	753	528	1,335	1,149	1,305					1,798
		最低値	23	20	37	22	23	11	31	54	29					5
		平均値	269	254	371	222	215	127	235	410	320					
全β放射能	境港局	最高値	3,141	2,674	3,426	3,540	3,001	2,691	2,546	3,710	3,107					4,729
		最低値	53	76	79	52	85	52	85	133	81					18
		平均値	664	593	744	568	737	531	593	1,172	838					
	米子局	最高値	2,595	3,716	4,342	3,907	1,968	1,388	3,370	2,938	3,136					4,800
		最低値	51	52	101	54	61	32	75	132	69					18
		平均値	674	639	920	551	568	348	608	1,043	771					
全β／全α	境港局	最高値	3.1	3.0	3.1	3.1	2.9	3.0	3.0	3.0	2.8					
		最低値	2.4	2.5	2.4	2.4	2.4	2.3	2.4	2.4	2.4					
		平均値	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.7	2.7	2.7	2.5					
	米子局	最高値	2.9	2.8	2.9	3.0	3.1	3.2	2.8	2.8	2.7					
		最低値	2.3	2.4	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4	2.3	2.3					
		平均値	2.5	2.5	2.5	2.5	2.7	2.7	2.6	2.6	2.4					

注1:3時間集じんし、3時間測定。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの5年間（R02～R06年度）の最小から最大値までの範囲。

ウ　環境試料中の放射性核種（γ線スペクトロメトリー）
（ア）大気（浮遊じん）

表Ｉ－３－９　大気（浮遊じん）の測定結果

（単位：mBq/m^3）

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅（暫定値）
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港市上道町（境港局）	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.8	0.52	ND
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.2	0.41	
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.2	0.43	
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.6	0.39	
	8月1日～8月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.2	0.44	
	9月1日～9月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.4	0.45	
	10月1日～10月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.2	0.46	
	11月1日～11月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.9	0.49	
	12月1日～12月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.5	0.50	
米子市河崎（米子局）	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.4	0.43	ND ～ 0.010
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.0	0.44	
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.3	0.42	
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.5	0.37	
	8月1日～8月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	0.89	0.45	
	9月1日～9月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.0	0.43	
	10月1日～10月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.9	0.49	
	11月1日～11月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.4	0.35	
	12月1日～12月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.2	0.53	

注1：NDは検出下限値未満を示す。
注2：H30年度から1ヶ月間の連続採取（H24～29年度は月1回の24時間採取）
注3：「平常の変動幅」は、前年度までの10年間（H27～R06年度）の最小値から最大値までの範囲とする。

（イ）降下物

表Ⅰ－３－10　降下物の測定結果

（単位:MBq/km^2）

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅（暫定値）
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港市上道町（境港局）	4月1日～5月2日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	120	5.9	ND
	5月2日～6月2日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	97	2.1	
	6月2日～7月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	54	ND	
	7月1日～8月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	14	ND	
	8月1日～9月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	68	ND	
	9月1日～10月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	120	1.1	
	10月1日～11月4日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	130	1.9	
	11月4日～12月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	160	3.6	
	12月1日～1月5日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	490	4.0	
米子市河崎（米子局）	4月1日～5月2日	ND	ND	ND	ND		ND	0.18	93	3.3	ND ～ 0.18（注3）
	5月2日～6月2日	ND	ND	ND	ND		ND	0.48	98	6.3	
	6月2日～7月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	57	2.9	
	7月1日～8月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	16	ND	
	8月1日～9月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	38	ND	
	9月1日～10月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	85	1.3	
	10月1日～11月4日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	170	3.1	
	11月4日～12月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	100	2.8	
	12月1日～1月5日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	320	3.8	

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間（H27～R06年度）の最小値から最大値までの範囲とする。
注3:米子局はH29年度に採取高を1mから3mに変更したため、「平常の変動幅」は、H29～R06年度に採取高3mで行った結果の最小～最大値を記載した。

（ウ）陸水

表Ⅰ−3−11　陸水の測定結果

（単位:mBq/L）

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
水道水	原水	米子市福市	R07.05.02	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	42	ND
			R07.11.04	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	48	

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間（H27～R06年度）の最小値から最大値までの範囲とする。

（エ）植物

表Ⅰ−3−12　植物の測定結果

（単位:Bq/kg生）

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
松葉	二年葉	境港市幸神町	R07.10.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.45	15	42	0.18 ～ 0.79
		米子市夜見町	R07.10.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.077	24	51	0.071 ～ 0.18

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間（H27～R06年度）の最小値から最大値までの範囲とする。

（オ）土壌

表Ⅰ−3−13　土壌の測定結果

（単位:Bq/kg乾土）

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
公園	表層	境港市馬場崎町	R07.07.01	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	930	ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間（H27～R06年度）の最小値から最大値までの範囲とする。

（カ）海水

表Ⅰ−3−14　海水の測定結果

（単位:mBq/L）

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
海水	表層水	境港市昭和町（美保湾）	R07.05.14	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	220	ND
			R07.11.12	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	240	

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間（H27～R06年度）の最小値から最大値までの範囲とする。

（キ）農産物

表Ｉ－３－１５ 農産物の測定結果

（単位:Bq/kg生）

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
米	精米	米子市夜見町	R07.10.24	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND	19	0.13 ～ 0.22
白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	R07.12.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.37	63	ND
ダイコン	根	境港市中海干拓地	R07.12.09	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	52	ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。
注3:米は生産者の変更に伴い、R01年度から採取地点を米子市夜見町の同一地区内の別の圃場に変更した。

（ク）海産生物

表Ｉ－３－１６ 海産生物の測定結果

（単位:Bq/kg生）

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
ワカメ	可食部	境港市近海	R07.04.03	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.2	190	ND
イワガキ	身	境港市近海	R07.07.07	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	2.2	74	ND
セイゴ	身	境港市近海	(1月採取予定)					/					0.10 ～ 0.20
ナマコ	身	境港市近海	(3月採取予定)					/					ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

エ　環境試料中の放射性核種（トリチウム分析）

表Ｉ－３－１７ トリチウムの測定結果

（単位:Bq/L）

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅
陸水	水道水	原水	米子市福市	R07.05.02	0.32	ND
				R07.11.04	ND	
海水	海水	表層水	境港市昭和町(美保湾)	R07.05.14	ND	0.14 ～ 0.18 (暫定値)
				R07.11.12	ND	

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とするが、海水(境港市昭和町)は測定開始から10年経過していないため、暫定値(R05～06年度)とする。
注3:下線部は、平常の変動幅の範囲外であることを示す。

オ　環境試料中の放射性核種（ストロンチウム分析）

表Ｉ－３－１８ ストロンチウム(Sr-90)の測定結果

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅 (暫定値)	単位
陸水	水道水	原水	米子市福市	R07.05.02	0.64	(R07～)	mBq/L
				R07.11.04	0.60		
土壌	公園	表層	境港市馬場崎町	R07.07.01	ND	0.30～0.43	Bq/kg乾土

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過していないため、暫定値(土壌:H30～R06年度)とする。

【Ⅱ　人形峠環境技術センター周辺】

1　目的区分

鳥取県における人形峠環境技術センター周辺の環境放射線測定は、補足参考資料（平常時）に示す平常時モニタリングの目的のうち、次に掲げる目的において実施する。

なお、補足参考資料（平常時）の最低限実施が必要な項目には該当しないが、環境中の経時変化を把握する上で参考となる項目又は測定技術の保持が必要と考えられる項目については、「(参考)」として測定を継続する。

③　原子力施設からの予期しない放射性物質又は放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価

（参考）環境中の経時変化の把握又は測定技術の保持

2　測定概要

（１）概要

三朝町木地山に設置している固定型モニタリングポストにより、空間放射線量率、浮遊じん全 α 放射能濃度及びフッ素濃度の連続測定を行った。また栗祖ほか 6 か所において、蛍光ガラス線量計による積算線量の測定を行った。さらに、環境試料中の放射性核種濃度の変動を把握するために、陸水、土壌、農産物等の核種分析を行った。

（２）実施機関

鳥取県原子力環境センター

中部総合事務所環境建築局（※人形峠環境技術センター周辺の試料採取等）

公益財団法人日本分析センター（分析委託）

（３）実施内容

令和 7 年度第 1～3 四半期の平常時モニタリングは、令和 7 年度環境放射線等測定計画に基づき実施した。当該計画の主な内容は、以下のとおりである。

ア　測定計画

表Ⅱ－２－１のとおり。

イ　測定地点

図Ⅱ－２－１、図Ⅱ－２－２のとおり。

ウ　測定方法及び測定機器

表Ⅱ－２－２のとおり。

（４）測定結果の評価方法

環境放射線等測定結果の評価は、測定項目及び地点ごとに、詳細調査を開始するための閾値として過去の測定結果より「平常の変動幅」を設定し、四半期ごとに取りまとめた測定結果が「平常の変動幅」を超過した場合には、原子力施設の影響、気象や自然放射性核種等の影響などについて要因の調査を行う。

表Ⅱ－２－１　令和７年度環境放射線等測定計画（人形峠環境技術センター周辺）

１　空間放射線

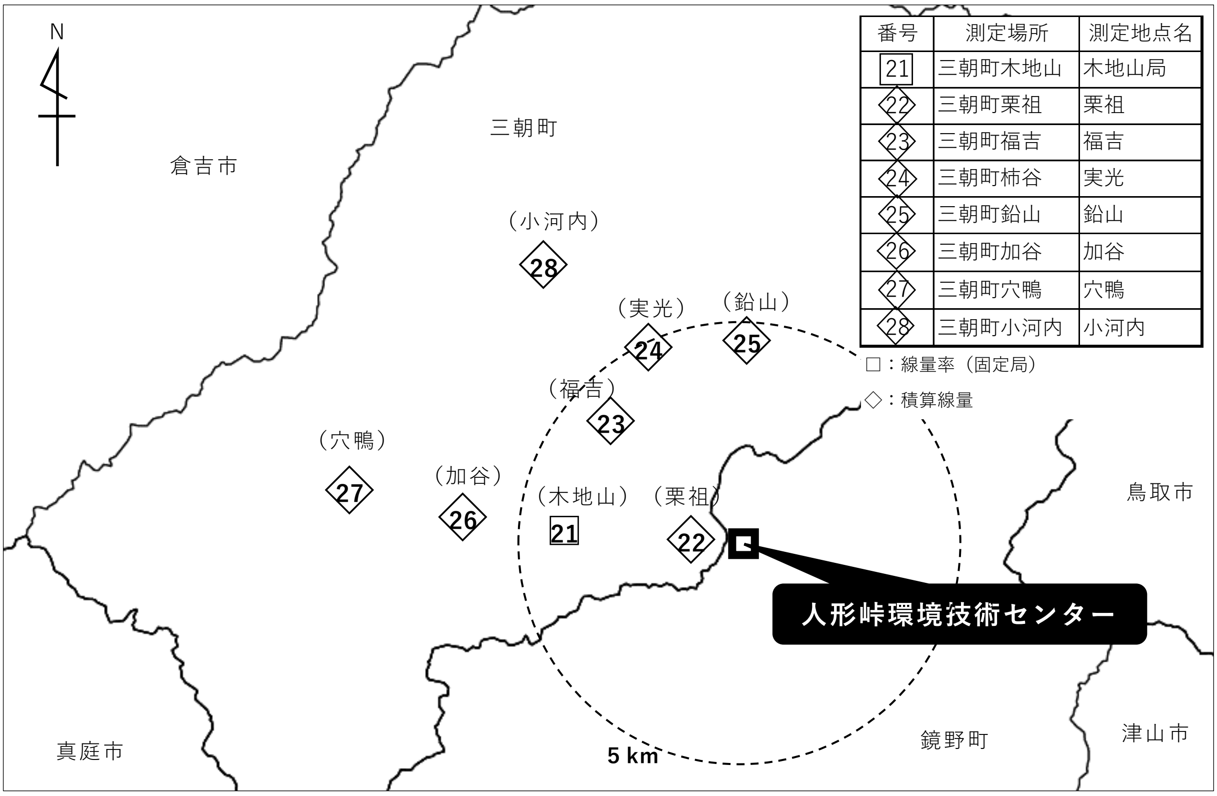
項目区分	目的区分	測定地点	測定地点	測定期間	測定件数	測定機器	測定方法
空間放射線量率	（参考）	三朝町木地山(木地山局)	1	連続測定	－	NaI（Tl）シンチレーション検出器 固定型モニタリングポスト	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」
積算線量	（参考）	三朝町栗祖（栗祖） 三朝町加谷（加谷公民館） 三朝町穴鴨（穴鴨公民館） 三朝町小河内（小河内公民館付近） 三朝町福吉（福吉公民館） 三朝町柿谷（実光公民館） 三朝町鉛山（鉛山公民館）	7	4～6 月 7～9 月 10～12 月 1～3 月	28	蛍光ガラス線量計	放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線測定法」

２　大気浮遊じん全α放射能、大気中フッ素

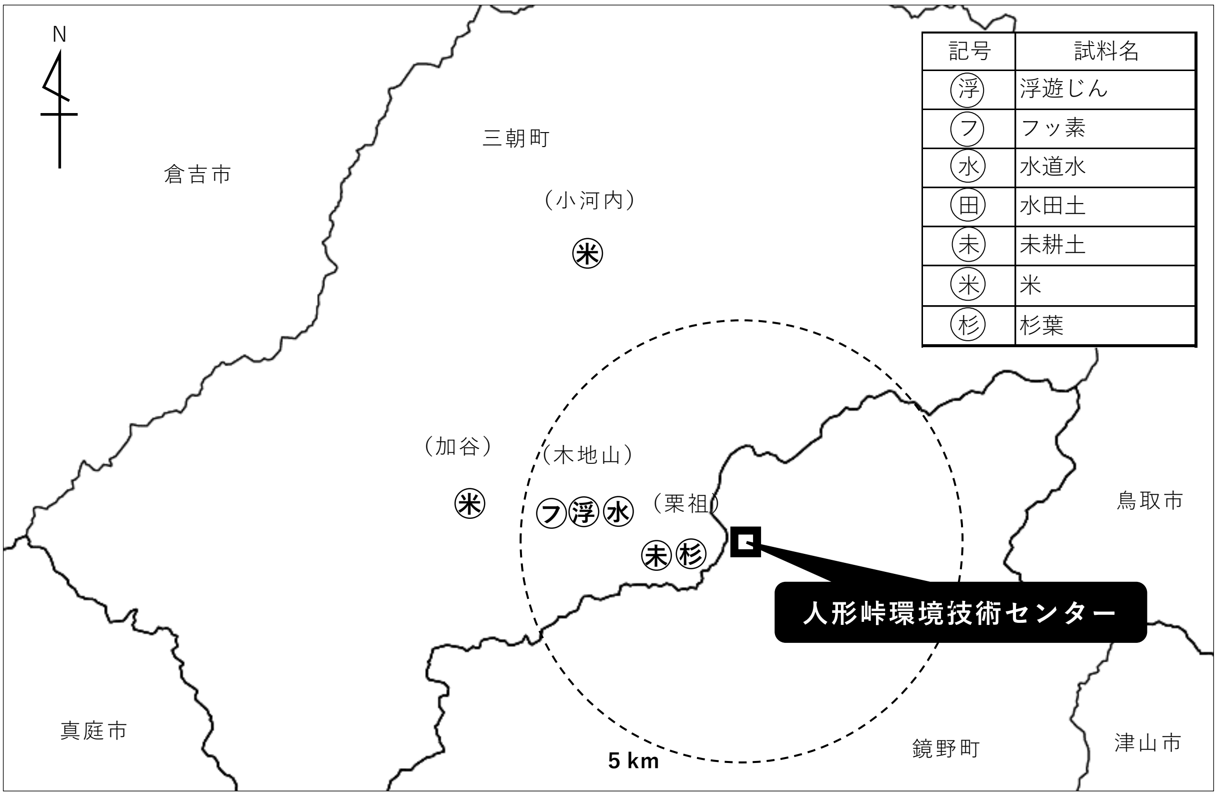
項目区分		目的区分	測定地点	測定地点	測定期間	測定件数	測定機器	測定方法
大気	浮遊じん放射能	③	三朝町木地山(木地山局)	1	連続測定	－	ZnS(Ag)シンチレーション検出器 固定型モニタリングポスト	放射線測定法シリーズ「全β放射能測定法」 JISZ4316「放射性ダストモニタ」
	フッ素					－	双イオン電極測定法電位差計 固定型モニタリングポスト	JISK0105「排ガス中のふっ素化合物分析方法」

３　環境試料中の放射性核種分析

項目区分	試料	部位	目的区分	採取地点	採取頻度		測定項目/件数		測定機器	測定方法
					頻度	採取月	U-235	U-238		
陸水	水道水	蛇口水	（参考）	三朝町木地山	2 年毎 年 2 回	7,11 月		2	U-238： ICP 質量分析装置	放射能測定法シリーズ「ウラン分析法」
				三朝町小河内		R8				
土壌	水田土	表層	（参考）	三朝町加谷	3 年毎 年 2 回	R8			U-235,U-238（委託分析）： シリコン半導体検出器	放射能測定法シリーズ「ウラン分析法」
				三朝町小河内		R9				
	未耕土	表層	（参考）	三朝町栗祖		7,11 月	2	2		
農産物	米	精米	（参考）	三朝町加谷	年 1 回	11 月	1	1	U-235,U-238（委託分析）： シリコン半導体検出器	放射能測定法シリーズ「ウラン分析法」
				三朝町小河内	年 1 回	11 月	1	1		
植物	杉葉	－	（参考）	三朝町栗祖	年 2 回	7,11 月	2	2	U-235,U-238（委託分析）： シリコン半導体検出器	放射能測定法シリーズ「ウラン分析法」
						合計	6	8		



図Ⅱ－２－１　空間放射線量率測定地点



図Ⅱ－２－２　環境試料採取地点

表Ⅱ－２－２　測定法及び測定機器

調査項目			分析方法	測定機器
空間放射線	空間放射線量率	NaI 放射線量率測定装置	連続測定 放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」	NaI (Tl) シンチレーション検出器 日立製作所製　MSR-R54-21034R1 (固定型モニタリングポスト)
	積算線量	積算線量計	３ヶ月間の積算測定 放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線測定法」	蛍光ガラス線量計 (RPLD) 千代田テクノル製　ガラス線量計素子
大気	浮遊じん放射能	放射性ダストモニタ	連続測定 放射線測定法シリーズ「全β放射能測定法」、JISZ4316「放射性ダストモニタ」 （250 L/分で３時間集じんし、３時間経過後、３時間測定）	ZnS(Ag)シンチレーション検出器 日立製作所製　MDR-RC52-21725 (固定型モニタリングポスト)
	フッ素	大気中フッ素化合物自動計測装置	連続測定 JISK0105「排ガス中のふっ素化合物分析方法」 （イオン電極法・20 L/分で３時間捕集）	双イオン電極測定法電位差計 京都電子工業製　HF-48 (固定型モニタリングポスト)
環境試料	陸水	水試料	ICP 質量分析法 放射能測定法シリーズ「ウラン分析法」	ICP 質量分析装置 パーキンエルマージャパン製 NexION 1000
	土壌	生試料	放射化学分析 放射能測定法シリーズ「ウラン分析法」	α線スペクトロメトリー (委託分析により実施)
	農産物	生試料		
	植物	生試料		

3　令和７年度測定結果（第１～３四半期）

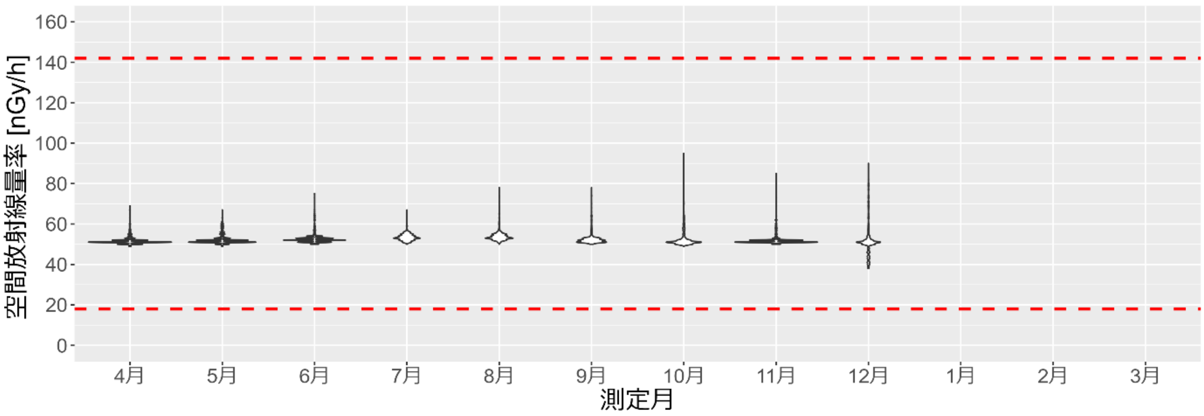
（１）測定結果概要

令和 7 年度第 1～3 四半期の人形峠環境技術センター周辺の環境放射線調査結果については、概ね過年度の測定結果と同レベルであり、原子力施設からの影響は認められなかった。

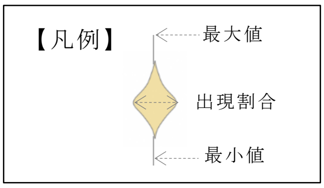
ア　空間放射線

（ア）空間放射線量率連続測定（固定型モニタリングポスト）

木地山局の空間放射線量率の測定結果は、平常の変動幅の範囲内であった。



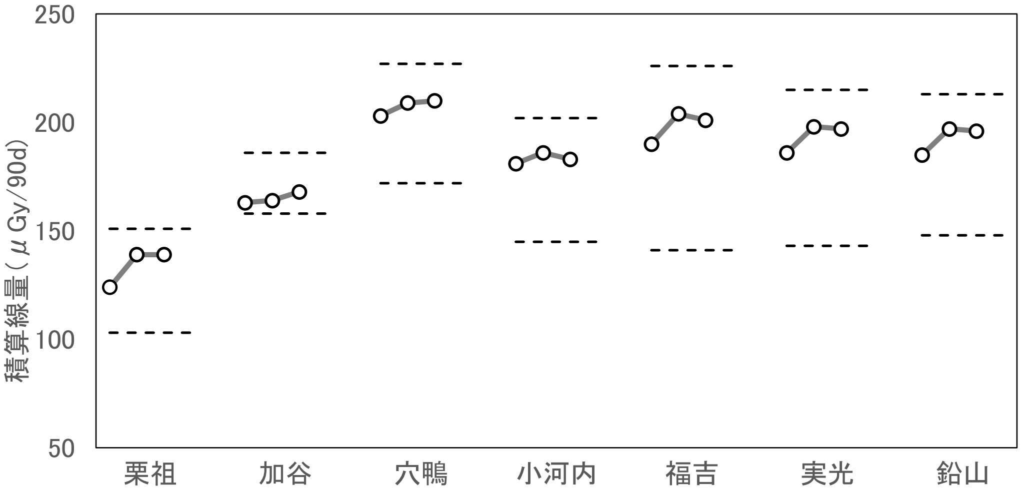
木地山局



図Ⅱ－３－１　空間放射線量率連続測定結果（固定型モニタリングポスト）

（イ）積算線量測定

積算線量の測定結果は、7 地点とも平常の変動幅の範囲内であった。



注 1：○は第 1～3 四半期の測定結果を示す。
注 2：点線は平常の変動幅を示す。平常の変動幅は、蛍光ガラス線量計（RPLD）による測定を H28 年度から開始したため、それ以前の熱ルミネセンス線量計による平常の変動幅を換算したもの。

図Ⅱ－３－２　積算線量の測定結果（第 1～3 四半期まで）

イ　大気浮遊じん全 α 放射能

第 2 四半期の木地山局の大気浮遊じん全α放射能の最高値（299 mBq/m^3）について、平常の変動幅の上限（297 mBq/m^3）を超過した。

平成 28 年度の測定開始からの測定実績は 1 ～ 412 mBq/m^3 で、過去の測定範囲内にあることから、一時的にラドン子孫核種の影響が全α放射能の変動に影響した可能性があると考えられた。

表Ⅱ－３－１　大気浮遊じん全α放射能の連続測定結果（第 1～3 四半期まで）

項目	最高値	最低値	平常の変動幅	単位
全α放射能	299	2	1 ～ 297	mBq/m^3

注 1：全α放射能は 250 L/分で 3 時間集じんし、3 時間経過後、3 時間測定。
注 2：全α放射能は、平成 28 年度に測定方法を変更しており（集塵後の経過時間を 6 時間から 3 時間に変更）、平成 14～27 年度までの測定値を 3 時間経過後に測定したときの値に変換しているため暫定値とする。
注 3：下線部は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

ウ　大気中フッ素

ダストモニタによる大気中フッ素の連続測定結果は、検出下限値未満であった。

表Ⅱ－３－２　大気中フッ素の連続測定結果（第 1～3 四半期まで）

項目	1.0 $\times 10^{-4}$ mg/m^{3} 注2 以上の回数	最高値 ($\times 10^{-4}$ mg/m^{3})	平常の変動幅 ($\times 10^{-4}$ mg/m^{3})
フッ素	0	－	ND

注１：フッ素は、20 L/分で３時間吸引し測定
注２：大気中フッ素の検出下限値

エ　環境試料中の放射性核種

（ア）U-235 分析

栗祖で採取した未耕土から検出されたU-235（1.2, 1.3 Bq/kg 乾土）は、平常の変動幅を超過（0.41 ～ 0.97 Bq/kg 乾土）したが、原子力施設で異常値等は確認されておらず、過去の測定実績（0.28～5.9 Bq/kg 乾土）の範囲内であることから、自然変動によるものと考えられた。

栗祖で採取した植物(杉葉)から検出されたU-235（0.61 mBq/kg 生）は、平常の変動幅の範囲内（ND ～ 0.67 mBq/kg 生）であった。

表Ⅱ－３－３　U-235 の分析結果の概要（第 1～3 四半期まで）

区分	試料	栗祖		加谷		小河内		単位
		測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
土壌	水田土			(令和８年度測定予定)	0.91～1.7	(令和９年度測定予定)	1.0～1.8	Bq/kg 乾土
	未耕土	1.2	0.41～0.97					
		1.3						
農産物	米			ND	ND	ND	ND	mBq/kg 生
植物	杉葉	ND	ND ～ 0.67					
		0.61						

注１：「平常の変動幅」は、前年度までの 10 年間(H27～R06 年度)の最小値から最大値のまでの範囲とする。
注２：下線部は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

（イ）U-238 分析

栗祖で採取した杉葉から検出されたU-238（6.7,11 mBq/kg 生）は、平常の変動幅の範囲内（5.7 ～ 13 mBq/kg 生）であった。

栗祖で採取した未耕土から検出されたU-238（27,29 Bq/kg 乾土）は、平常の変動幅を超過（12 ～ 22 Bq/kg 乾土）したが、原子力施設で異常値等は確認されておらず、過去の測定実績（8.7 ～ 150 Bq/kg 乾土）の範囲内であることから、自然変動によるものと考えられた。

木地山で採取した水道水は、定量下限値未満であった。

表Ⅱ－３－４　U-238 の分析結果の概要（第 1～3 四半期まで）

区分	試料	木地山		栗祖		加谷		小河内		単位
		測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
陸水	水道水	<LOQ <LOQ	ND ～ 0.09					(令和 8 年度測定予定)	1.8 ～ 3.8	mBq/L
土壌	水田土					(令和 8 年度測定予定)	22 ～ 34	(令和 9 年度測定予定)	27 ～ 43	Bq/kg 乾土
土壌	未耕土			27 29	12 ～ 22					Bq/kg 乾土
農産物	米					ND	ND ～ 0.58	ND	ND ～ 0.70	mBq/kg 生
植物	杉葉			6.7 11	5.7 ～ 13					mBq/kg 生

注 1 :「平常の変動幅」は、前年度までの 10 年間(H27～R06 年度)の最小値から最大値のまでの範囲とする。
注 2 : ＜LOQ は定量下限値未満、ND は検出下限値未満を示す。
注 3 : 下線部は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

（２）測定項目別の結果

ア　空間放射線

（ア）空間放射線量率連続測定（固定型モニタリングポスト）

表Ⅱ－３－４　固定型モニタリングポストの連続測定結果（1時間値）

（単位：ｎGy/h）

測定地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
木地山局	最高値	69	67	75	67	78	78	95	85	90					142
	最低値	49	49	50	50	50	50	49	50	38					18
	平均値	52	52	53	54	54	53	53	52	52					

注1:空間放射線量率は1時間値

注2:「変動幅」は、前年度までの5年間（R02～R06年度）の最小値から最大値までの範囲とする。

（イ）積算線量測定

表Ⅱ－３－５　積算線量の測定結果

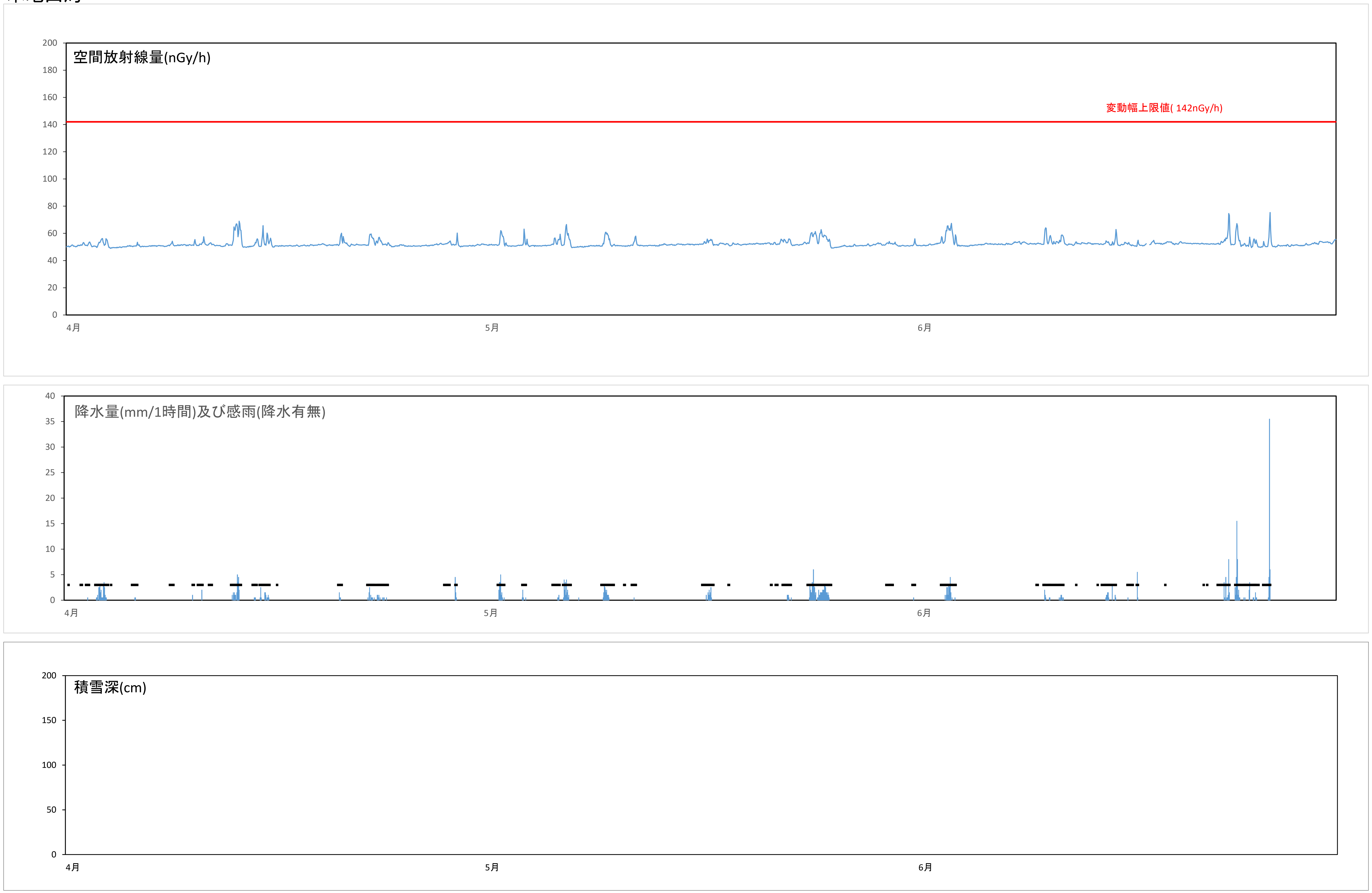
（単位:上段　μGy/90d、下段　μGy/h）

測定地点	第１四半期（3～5月）	第２四半期（6～8月）	第３四半期（9～11月）	第４四半期（12～2月）	平常の変動幅（暫定値）	年間線量（mGy/365d）
栗祖	124 (0.057)	139 (0.064)	139 (0.064)		103 ～ 151 (0.048 ～ 0.070)	
加谷公民館	163 (0.075)	164 (0.076)	168 (0.078)		158 ～ 186 (0.073 ～ 0.086)	
穴鴨公民館	203 (0.094)	209 (0.097)	210 (0.097)		172 ～ 227 (0.080 ～ 0.105)	
小河内公民館付近	181 (0.084)	186 (0.086)	183 (0.085)		145 ～ 202 (0.067 ～ 0.094)	
福吉公民館	190 (0.088)	204 (0.094)	201 (0.093)		141 ～ 226 (0.062 ～ 0.105)	
実光公民館	186 (0.086)	198 (0.092)	196 (0.091)		143 ～ 215 (0.066 ～ 0.100)	
鉛山公民館	185 (0.086)	197 (0.091)	229 (0.106)		148 ～ 213 (0.069 ～ 0.099)	

注1:下段の数値は、当該期間における1時間当たりの線量率に換算したもの。

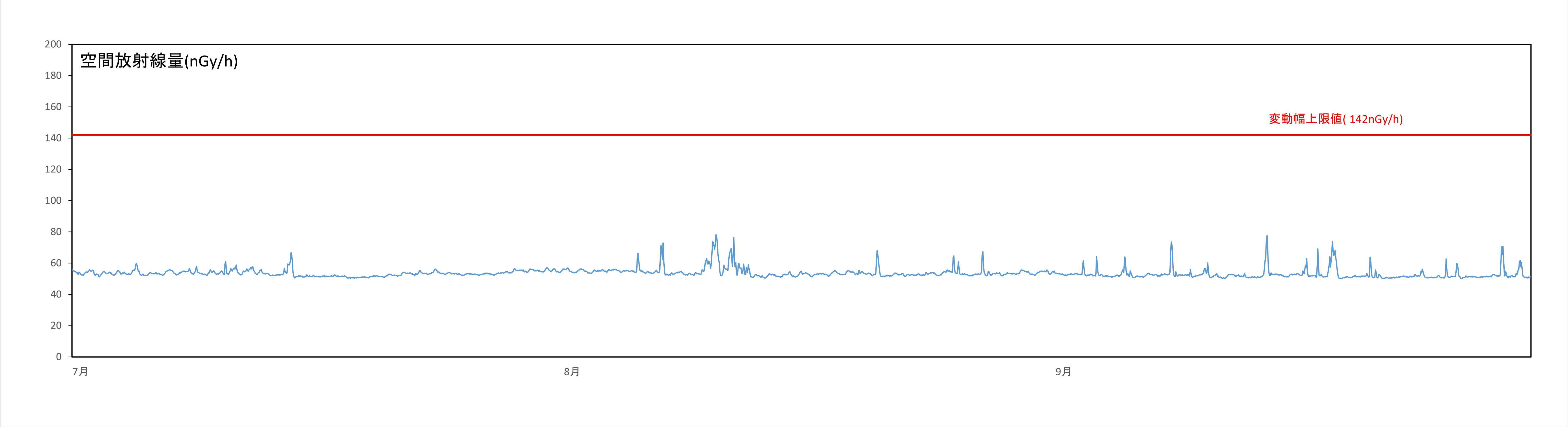
注2:「平常の変動幅」は、各地点における前年度までの10年間（H27～R06年度）の最小値から最大値までの範囲とする。

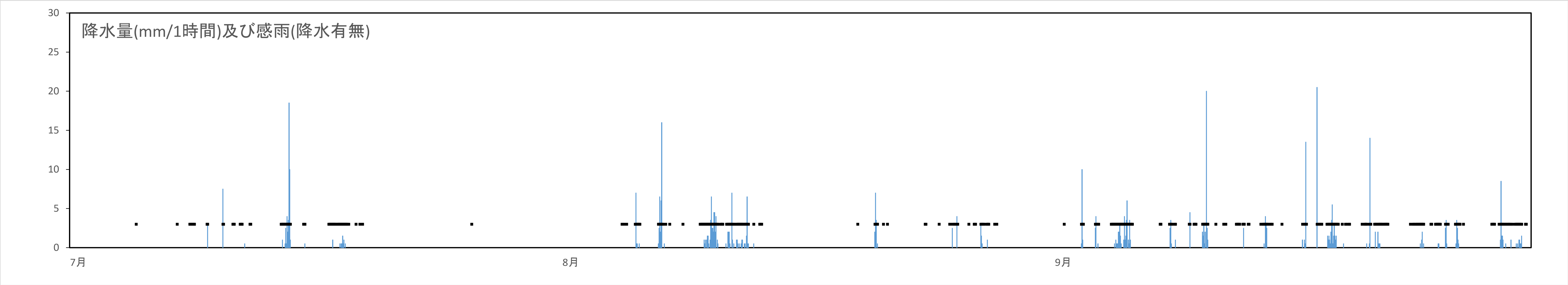
木地山局



図Ⅱ－３－３a　空間放射線量率と降水・積雪の関係（令和7年度第1四半期、1時間値）

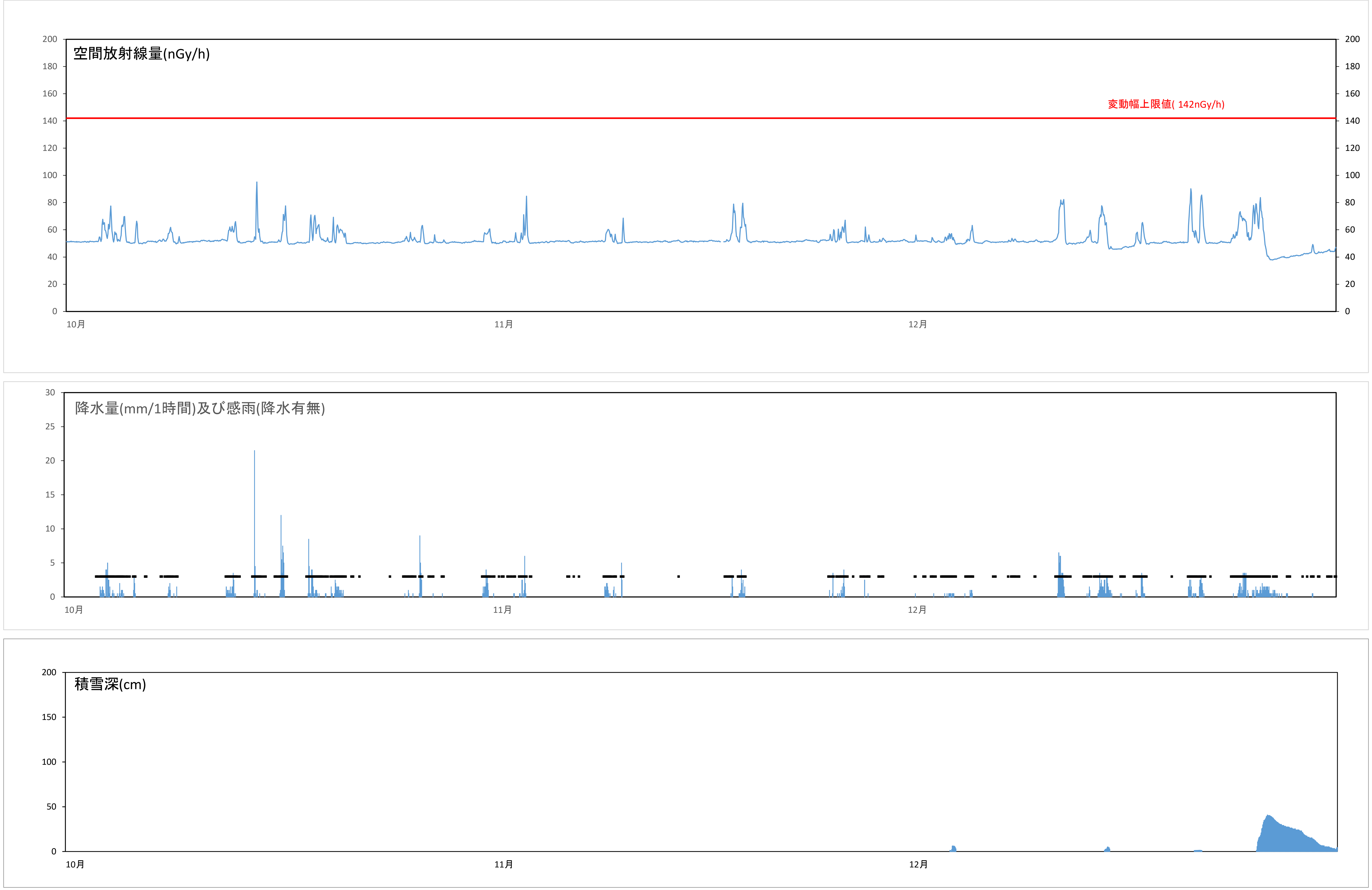
木地山局





図Ⅱ－３－３b　空間放射線量率と降水・積雪の関係（令和7年度第2四半期、1時間値）

木地山局



図Ⅱ－３－３c　空間放射線量率と降水・積雪の関係（令和7年度第3四半期、1時間値）

イ　大気浮遊じん全α放射能の連続測定

表Ⅱ－３－６　大気浮遊じん全α放射能の測定結果

項目	地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
全α放射能 (mBq/m^3)	木地山局	最高値	146	158	187	299	230	151	85	88	88					297
		最低値	2	2	3	2	12	4	3	6	3					1
		平均値	38	36	50	60	78	35	25	35	26					

注1:250 L/分で3時間集じんし、3時間経過後、3時間測定

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(R02～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

注3:全α放射能は、平成28年度に機器更新し測定方法を変更しているため(集塵後の経過時間を6時間から3時間に変更)、平成28年度からの測定値を「測定開始時からの測定値」とした。

注4:下線部は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

ウ　大気中フッ素の連続測定

表Ⅱ－３－７　大気中フッ素の測定結果

項目	地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
フッ素 (×10^{-4} mg/m^3)	木地山局	1.0以上の回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0					ND
		最高値	－	－	－	－	－	－	－	－	－					

注1:20 L/分で3時間吸引し測定

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(R02～R06年度)の範囲とする。

注3:大気中フッ素の検出下限値は1.0×10^{-4} mg/m^3

エ　環境試料中の放射性核種等

（ア）陸水

表Ⅱ－３－８　陸水の測定結果

試料	部位	採取地点	採取年月日	U-238(mBq/L)	
				測定結果	平常の変動幅
水道水	蛇口水	三朝町栗祖 (木地山)	R07.07.17	＜LOQ	＜LOQ～0.085
			R07.11.20	＜LOQ	

注1:「平常の変動幅」は、R03～R06年度の最小値から最大値までの範囲とする。
注2:＜LOQは定量下限値未満を示す。

（イ）土壌

表Ⅱ－３－９　土壌の測定結果

試料	部位	採取地点	採取 年月日	U-235(Bq/kg乾土)		U-238(Bq/kg乾土)	
				測定 結果	平常の 変動幅	測定 結果	平常の 変動幅
未耕土	表層	三朝町栗祖	R07.07.17	1.2	0.41～0.97	27	12～22
			R07.11.20	1.3		29	

注1:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H26～R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。
注2:下線部は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

（ウ）農産物

表Ⅱ－３－10　農産物の測定結果

試料	部位	採取地点	採取 年月日	U-235(mBq/kg生)		U-238(mBq/kg生)	
				測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅
米	精米	三朝町加谷	R07.12.16	ND	ND	ND	ND ～ 0.58
		三朝町小河内	R07.12.16	ND	ND	ND	ND ～ 0.70

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。
注3:加谷はR01年度より採取地点を変更した。

（エ）植物

表Ⅱ－３－11　植物の測定結果

試料	部位	採取地点	採取 年月日	U-235(mBq/kg生)		U-238(mBq/kg生)	
				測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅
杉葉	－	三朝町栗祖	R07.07.17	ND	ND ～ 0.67	6.7	5.7 ～ 13
			R07.11.20	0.61		11	

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。
注3:R01年度より採取地点を変更した。
注4:下線部は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

【Ⅲ　平常の変動幅の超過に係る検証】

検証１　令和７年５月分の米子局の降下物の Cs-137 の変動幅の超過について

１　概要

米子局で採取した令和７年５月分の降下物について核種分析した結果、平常の変動幅の上限を超過する Cs-137 が検出されたことから、要因調査を行った。要因調査の結果、原子力施設の影響ではなく、要因の１つとして近隣周辺の圃場の土壌による影響の可能性が考えられた。

２　降下物の Cs-137 分析結果

令和７年度第１四半期の米子局及び境港局の降下物の Cs-137 分析結果を表Ⅲ－１－１に示す。令和７年度第１四半期では、境港局の降下物の Cs-137 は検出下限値未満だったが、米子局の４月分及び５月分の降下物から Cs-137 が検出されており、特に５月分は平常の変動幅の上限値（0.18 MBq/km^2）の約 2.7 倍の Cs-137 濃度（0.48 MBq/km^2）が検出された。

島根原子力発電所周辺の降下物は、平成 25 年度から測定を開始して、平成 29 年度から米子局の採取高を１ｍから３ｍに変更しているが、平成 28 年度にも同レベルの Cs-137（0.46 MBq/km^2）が検出されている。

参考として、採取高を３ｍに変更後の平成 29 年度以降に降下物から検出された Cs-137 濃度を表Ⅲ－１－２示す。Cs-137 が検出されたのは 18 回あり、全て米子局の降下物から検出されており、検出時期は１月～5 月の間で、主に３月と４月に集中している。

表Ⅲ－１－１　令和７年度第１四半期の降下物の Cs-137 分析結果

（単位：MBq/km^2）

採取年月	米子局		境港局	
	Cs-137 濃度	平常の変動幅（測定開始からの最小から最大値）	Cs-137 濃度	平常の変動幅
令和７年４月	0.18	ND ～ 0.18 (ND ～ 0.46)	ND	ND
５月	0.48		ND	
６月	ND		ND	

※下線部は平常の変動幅を超過した値

※米子局は H29 年度に測定地点を変更したため、平常の変動幅は H29～R06 の最小から最大値までの範囲とする。

表Ⅲ－１－２　平成29年度以降に降下物から検出されたCs-137濃度

（単位：MBq/km^2）

採取年月		採取地点	Cs-137濃度
平成29年	4月	米子局	0.08
平成30年	3月	〃	0.18
	4月	〃	0.08
平成31年	3月	〃	0.14
	4月	〃	0.08
令和２年	3月	〃	0.10
	4月	〃	0.13
	5月	〃	0.07
令和３年	2月	〃	0.13
	3月	〃	0.15
	4月	〃	0.12
	5月	〃	0.15
令和４年	1月	〃	0.067
	3月	〃	0.083
令和５年	4月	〃	0.14
令和６年	3月	〃	0.10
令和７年	2月	〃	0.068
	3月	〃	0.099

３　要因調査及び考察

（１）原子力施設の測定値等の異常

米子局の降下物にCs-137が検出された令和７年４月及び５月において、島根原子力発電所で測定されている原子炉建物排気筒モニタ及び施設敷地境界モニタリング値※に異常値は確認されていない。

※「島根原子力発電所に係る鳥取県民の安全確保等に関する協定」に基づく情報

（２）分析機器の健全性

Ge半導体核種分析装置については、令和６年10月に実施した定期点検により、エネルギー分解能やピーク効率等の性能検査を行い、機器の健全性を確認している。

また、測定機器の日常点検のなかで、当該測定試料のγ線スペクトル上のK-40のピーク中心のずれが±1 keVの範囲内であること、バックグラウンドスペクトルを四半期毎に測定して測定機器が汚染されていないこと、測定室内の温度及び湿度は適切に管理がされていることを確認している。

これらのことから、Ge半導体核種分析装置には異常がなかったと考えられた。

（３）その他の要因

ア　気象状況

令和７年４月及び５月の気象状況については、Ⅳ参考資料の２気象測定結果（p47）に取りまとめており、米子局の４月と５月には風速最大値が10m/sを超える強い風が吹いた。

また、気象庁の気象情報などから、４月と５月に黄砂が飛来していることを確認したが、境港局の降下物からはCs-137を検出していないことや、米子局及び境港局で採取した大気浮遊じんのろ紙、並びに水準調査で実施した当センターで採取した大気浮遊じんのろ紙からCs-137は検出されていないことから、降下物中のCs-137は黄砂由来ではないものと考えられる。

イ　採取試料の状況

令和７年４月分及び５月分の降下物の採取量、前処理状況及び前処理後の測定試料情報について表Ⅲ－１－３に示す。

表Ⅲ－１－３の降下物の前処理状況から、境港局の降下物は薄緑色であるが、米子局の降下物は茶色に濁っていることが確認された。試料外観からも、令和７年４月分及び５月分の降下物には土や砂が混ざっていることを目視確認していることから、採取した降下物には土壌が混入した可能性が考えられた。

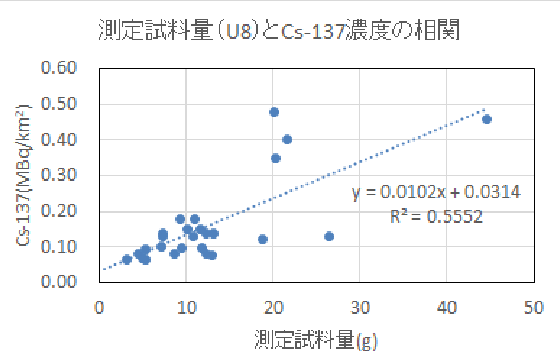
表Ⅲ－１－３　降下物の採取量、前処理状況及び測定試料情報

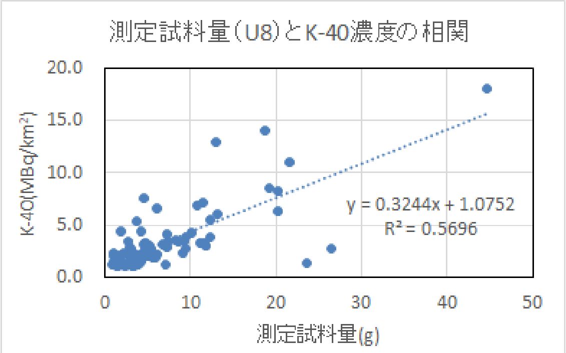
		令和７年４月分		令和７年５月分	
採取地点		米子局	境港局	米子局	境港局
試料採取量（L）		5.266	16.365	15.226	23.518
前処理状況（試料濃縮前）					
試料外観		土・砂が多い	砂あり	土が多い	砂あり
測定試料	濃縮後の測定試料量(g)	11.04	9.08	20.16	5.45
	試料高(cm)	0.471	0.468	1.058	0.387
	試料密度(g/cm^2)	1.352	1.119	1.099	0.812

試料採取量と濃縮後の測定試料量について、令和７年４月分及び５月分ともに、試料採取量は米子局よりも境港局の方が多いが、濃縮後の測定試料量は境港局より米子局の方が重くなった。特に、令和７年５月分の米子局の測定試料量(20.16 g)は、境港局の測定試料量(5.45 g)の約3.7倍もあった。

米子局の降下物に関しては、平成28年度環境放射線等測定結果報告書p45～46（資料２「米子局の降下物からのCs-137の検出について」）に、Cs-137を検出した試料重量とCs-137濃度に相関があることを報告しているが、今回改めて、令和７年度までの測定結果の測定試料量とCs-137濃度の相関を確認するとともに、K-40との相関も確認した。

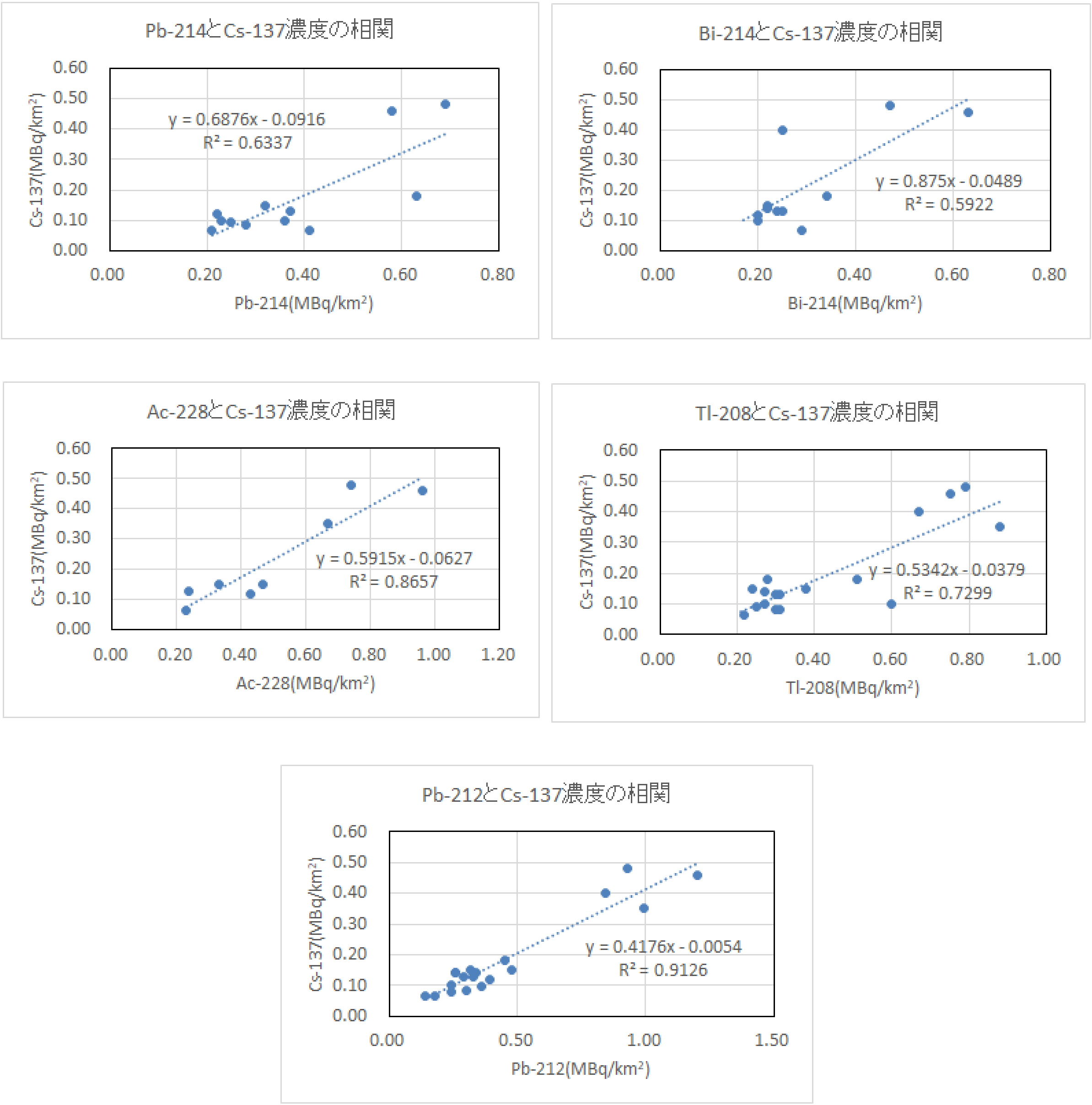
その結果、図Ⅲ－１－１に示すとおり、測定試料量とCs-137濃度並びにK-40濃度には相関があることが確認できたことから、測定試料量が多くなると、人工放射性核種のCs-137濃度と天然放射性核種のK-40が高くなる傾向が見られた。





図Ⅲ－１－１　測定試料量とCs-137及びK-40の相関

また、Cs-137 を検出した降下物は、図Ⅲ－１－２に示すとおり、Cs-137 とウラン系列の Pb-214 及び Bi-214、トリウム系列の Ac-228、Pb-212 及び Tl-208 の天然放射性核種と相関があることが確認された。これら天然放射性核種は、土壌の核種分析で検出される。



図Ⅲ－１－２　降下物の Cs-137 と天然放射性核種との相関

ウ　米子局周辺の状況

米子局周辺には多くの圃場があり、春と秋には圃場の耕耘が行われるが、降下物から Cs-137 が検出された令和７年４月及び５月についても、図Ⅲ－１－３のとおり、圃場の耕耘が行われていることを確認している。このことから、春の強い風により圃場の土壌が舞い上がった可能性も考えられた。

（北方向）　　　　　　　（西方向）　　　　　　　（南方向）

※（　）内は、米子局から見た方向を示す。

図Ⅲ－１－３　米子局周辺の状況（令和７年４月～5 月）

４　まとめ

米子局で採取した令和７年５月分の降下物の Cs-137 濃度が平常の変動幅の上限値を超過した要因を調査した結果、原子力施設からの影響や分析機器の異常によるものではなく、要因の１つとして米子局周辺にある圃場の土壌による影響の可能性が考えられた。

【Ⅳ 参考資料】

1　環境試料中の放射性核種の検出下限（定量下限）値

（１）島根原子力発電所周辺

ア　環境試料中の放射性核種（γ線スペクトロメトリー）

（ア）大気（浮遊じん）

表Ⅳ－１－１ 大気(浮遊じん)の検出下限値

(単位:mBq/m^3)

採取地点	採取期間	対象核種						
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137
境港市上道町（境港局）	4月1日～4月30日	0.0069	0.015	0.0076	0.0078		0.0075	0.0073
	5月1日～5月31日	0.0063	0.013	0.0071	0.0072		0.0071	0.0067
	6月1日～6月30日	0.0055	0.011	0.0053	0.0058		0.0060	0.0057
	7月1日～7月31日	0.0062	0.012	0.0060	0.0065		0.0065	0.0064
	8月1日～8月31日	0.0062	0.014	0.0066	0.0062		0.0070	0.0067
	9月1日～9月30日	0.0063	0.013	0.0070	0.0065		0.0068	0.0066
	10月1日～10月31日	0.0065	0.014	0.0067	0.0068		0.0072	0.0068
	11月1日～11月30日	0.0067	0.014	0.0071	0.0070		0.0076	0.0070
	12月1日～12月31日	0.0070	0.016	0.0075	0.0072		0.0075	0.0070
米子市河崎（米子局）	4月1日～4月30日	0.011	0.022	0.011	0.011		0.012	0.011
	5月1日～5月31日	0.010	0.021	0.0095	0.010		0.011	0.010
	6月1日～6月30日	0.0099	0.019	0.0095	0.0093		0.011	0.010
	7月1日～7月31日	0.0091	0.017	0.0092	0.0088		0.010	0.0096
	8月1日～8月31日	0.0085	0.017	0.0086	0.0088		0.0097	0.0087
	9月1日～9月30日	0.0081	0.017	0.0096	0.0084		0.0095	0.0094
	10月1日～10月31日	0.0090	0.019	0.0096	0.0081		0.011	0.0097
	11月1日～11月30日	0.0098	0.021	0.011	0.0089		0.011	0.011
	12月1日～12月31日	0.010	0.024	0.012	0.010		0.012	0.011

（イ）降下物

表Ⅳ－１－２　降下物の検出下限値

（単位:MBq/km²）

採取地点	採取期間	対象核種						
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137
境港市上道町（境港局）	4月1日～5月2日	0.053	0.11	0.055	0.061		0.065	0.052
	5月2日～6月2日	0.057	0.10	0.053	0.064		0.072	0.058
	6月2日～7月1日	0.052	0.093	0.047	0.062		0.064	0.050
	7月1日～8月1日	0.050	0.097	0.10	0.054		0.064	0.055
	8月1日～9月1日	0.054	0.11	0.055	0.064		0.069	0.057
	9月1日～10月1日	0.066	0.11	0.055	0.060		0.067	0.056
	10月1日～11月4日	0.050	0.10	0.052	0.063		0.072	0.053
	11月4日～12月1日	0.059	0.11	0.061	0.072		0.074	0.055
	12月1日～1月5日	0.061	0.17	0.064	0.066		0.072	0.063
米子市河崎（米子局）	4月1日～5月2日	0.092	0.17	0.094	0.093		0.11	0.097
	5月2日～6月2日	0.11	0.19	0.11	0.10		0.11	0.11
	6月2日～7月1日	0.080	0.15	0.083	0.090		0.10	0.086
	7月1日～8月1日	0.094	0.16	0.091	0.099		0.11	0.10
	8月1日～9月1日	0.094	0.19	0.098	0.099		0.12	0.096
	9月1日～10月1日	0.054	0.11	0.065	0.063		0.096	0.057
	10月1日～11月4日	0.060	0.12	0.060	0.066		0.074	0.056
	11月4日～12月1日	0.092	0.18	0.094	0.099		0.12	0.10
	12月1日～1月5日	0.087	0.19	0.11	0.088		0.11	0.098

（ウ）陸水

表Ⅳ－１－３　陸水の検出下限値

（単位:mBq/L）

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137
水道水	原水	米子市福市	R07.05.02	0.38	0.77	0.38	0.42		0.44	0.40
			R07.11.04	0.38	0.78	0.39	0.41		0.42	0.37

（エ）植物

表Ⅳ－１－４　植物の検出下限値

（単位:Bq/kg生）

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137
松葉	二年葉	境港市幸神町	R07.10.14	0.024	0.059	0.023	0.028	0.24	0.026	0.022
		米子市夜見町	R07.10.14	0.030	0.083	0.037	0.038	0.35	0.038	0.035

（オ）土壌

表Ⅳ－１－５　土壌の検出下限値

（単位:Bq/kg乾土）

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137
公園	表層	境港市馬場崎町	R07.07.01	0.94	1.9	0.81	0.95		0.92	0.92

（カ）海水

表Ⅳ－１－６　海水の検出下限値

（単位:mBq/L）

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137
海水	表層水	境港市昭和町（美保湾）	R07.05.14	1.5	2.9	1.5	1.8		1.7	1.4
			R07.11.12	1.5	2.9	1.5	1.6		1.7	1.6

（キ）農産物

表Ⅳ－１－７ 農産物の検出下限値

（単位:Bq/kg生）

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137
米	精米	米子市夜見町	R07.10.24	0.049	0.12	0.051	0.051	0.064	0.053	0.055
白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	R07.12.01	0.014	0.040	0.015	0.019	0.12	0.013	0.014
ﾀﾞｲｺﾝ	根	境港市中海干拓地	R07.12.09	0.014	0.039	0.015	0.018	0.10	0.014	0.014

（ク）海産生物

表Ⅳ－１－８ 海産生物の検出下限値

（単位:Bq/kg生）

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137
ワカメ	可食部	境港市近海	R07.04.03	0.041	0.11	0.040	0.050	0.11	0.037	0.037
イワガキ	身		R07.07.07	0.046	0.16	0.044	0.053		0.045	0.042
セイゴ	身		(1月採取予定)							
ナマコ	身		(3月採取予定)							

イ　環境試料中の放射性核種（トリチウム分析）

表Ⅳ－１－９ トリチウムの検出下限値

区分	試料名	部位	採取地点	採取年月日	検出下限値	単位
陸水	水道水	原水	米子市福市	R07.05.02	0.30	Bq/L
				R07.11.04	0.33	
海水	海水	表層水	境港市昭和町(美保湾)	R07.05.14	0.30	
				R07.11.12	0.33	

ウ　環境試料中の放射性核種（ストロンチウム分析）

表Ⅳ－１－１０ ストロンチウム(Sr-90)の検出下限値

区分	試料名	部位	採取地点	採取年月日	検出下限値	単位
陸水	水道水	原水	米子市福市	R07.05.02	0.38	mBq/L
				R07.11.04	0.27	
土壌	公園	表層	境港市馬場崎町	R07.07.01	0.19	Bq/kg乾土

（２）人形峠環境技術センター周辺

ア　環境試料中の放射性核種分析等

（ア）陸水

表Ⅳ－１－11　陸水の定量下限値

試料	部位	採取地点	採取年月日	U-238(mBq/L)
飲料水	蛇口水	木地山	R07.07.17	0.14
			R07.11.20	0.012

（イ）土壌

表Ⅳ－１－12　土壌の検出下限値

試料	部位	採取地点	採取年月日	U-235(Bq/kg乾土)	U-238(Bq/kg乾土)
未耕土	表層	栗祖	R07.07.17	0.12	0.12
			R07.11.20	0.11	0.13

（ウ）農産物

表Ⅳ－１－13　農産物の検出下限値

試料	部位	採取地点	採取年月日	U-235(mBq/kg生)	U-238(mBq/kg生)
米	精米	三朝町加谷	R07.12.16	0.58	0.58
		三朝町小河内	R07.12.16	0.63	0.63

（エ）植物

表Ⅳ－１－14　植物の検出下限値

試料	部位	採取地点	採取年月日	U-235(mBq/kg生)	U-238(mBq/kg生)
杉葉	－	三朝町栗祖	R07.07.17	0.59	0.56
			R07.11.20	0.61	0.58

２　気象測定結果

（１）島根原子力発電所周辺

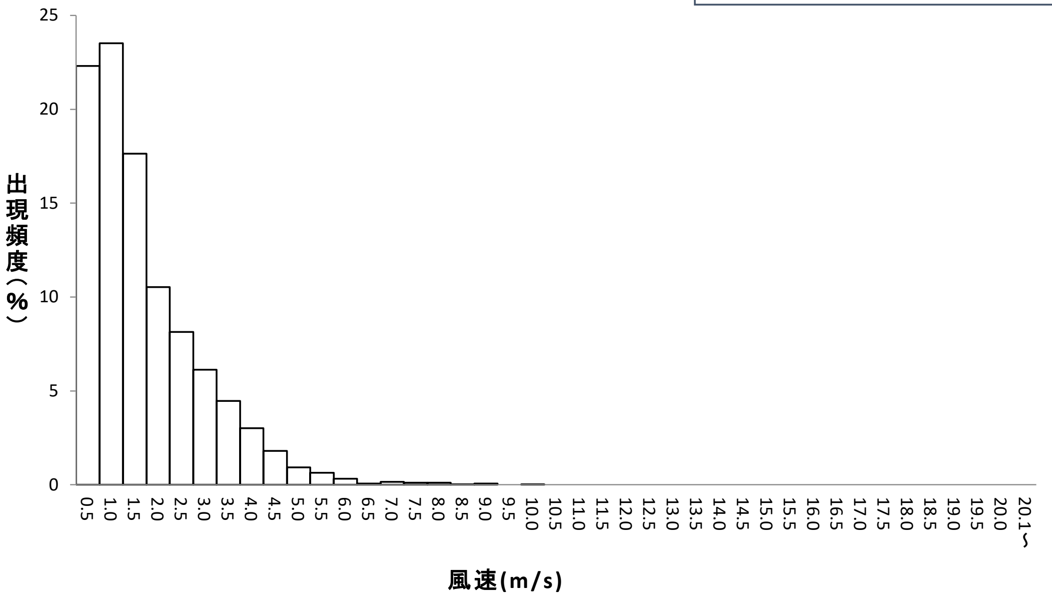
表Ⅳ－２－１　風速、気温、湿度、降水量（境港局、R07 年度第 1～3 四半期まで）

測定月	風速（m/s）		気温（℃）			湿度（%）		降水量
	最高値	平均値	最高値	最低値	平均値	最低値	平均値	(mm)
4 月	9.0	1.7	29.3	0.9	13.9	16	72	65.0
5 月	9.8	1.6	31.5	8.7	18.1	20	75	101.0
6 月	6.2	1.4	37.2	15.1	24.3	25	76	113.5
7 月	5.7	1.7	37.4	21.4	29.5	31	72	27.5
8 月	6.4	1.3	37.6	23.1	29.2	42	78	227.0
9 月	5.3	1.3	36.2	17.4	26.4	45	80	218.0
10 月	6	1.6	30.2	7.2	19.9	35	79	141
11 月	5.5	1.2	22.9	5	12.8	37	78	75.5
12 月	5.2	1.4	22.3	0.2	8.2	39	79	98.5
1 月								
2 月								
3 月								
年間								

表Ⅳ－２－２　風速、気温、湿度、降水量（米子局、R07 年度第 1～3 四半期まで）

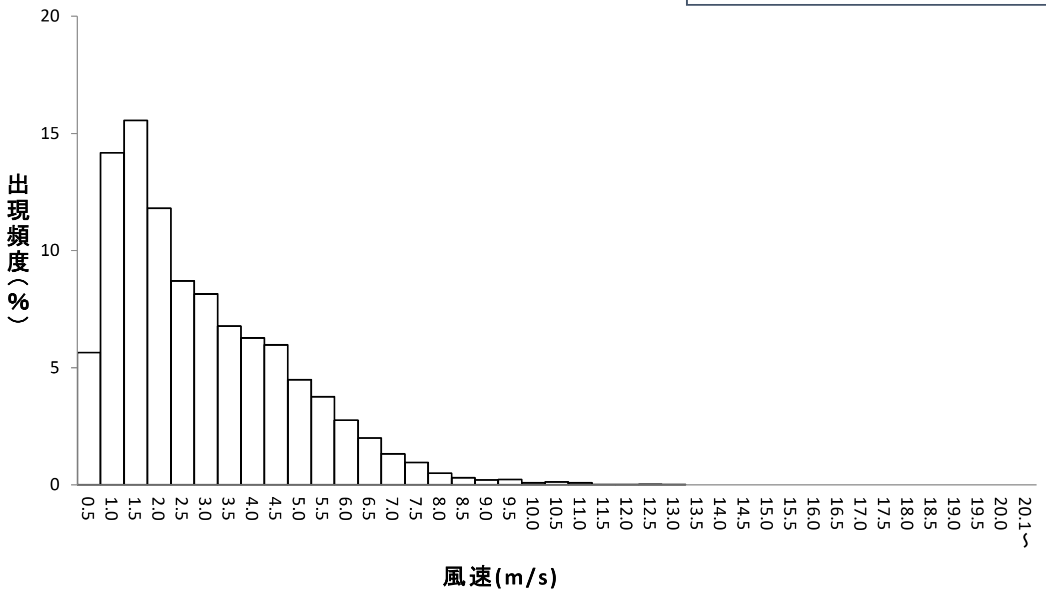
測定月	風速（m/s）		気温（℃）			湿度（%）		降水量
	最高値	平均値	最高値	最低値	平均値	最低値	平均値	(mm)
4 月	10.7	3.0	28.8	-1.2	13.5	10	69	41.5
5 月	14.3	3.0	30.9	6.8	17.7	17	73	90.0
6 月	9.3	2.5	34.3	14.0	23.8	26	75	128.5
7 月	9.4	3.1	38.7	21.4	29.0	26	71	26.5
8 月	8.6	2.3	36.3	22.1	28.7	40	76	178.5
9 月	7.7	2.4	36.1	15.8	26.0	45	79	187.0
10 月	7.5	2.9	30.5	4.9	19.4	34	78	157.5
11 月	8.5	2.1	20.8	2.9	12.1	38	76	61.5
12 月	11.1	2.8	20.9	-0.1	8.1	31	75	75.0
1 月								
2 月								
3 月								
年間								

サンプル数:　4,385
平均風速　:　1.5　(m/s)

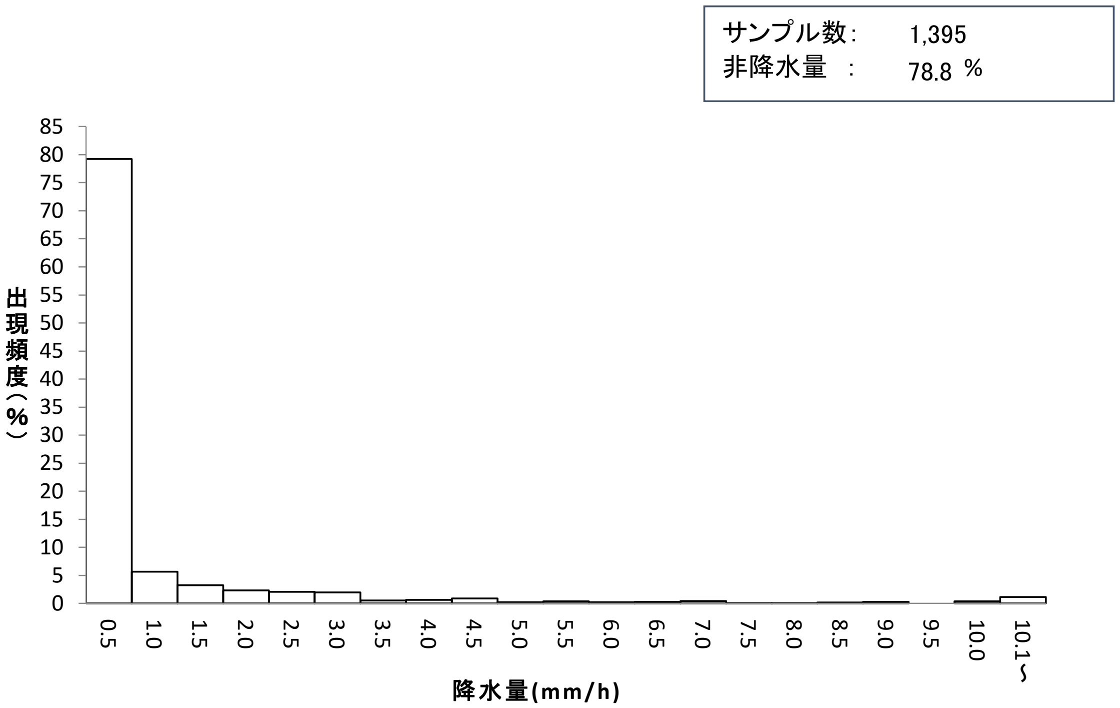


図Ⅳ－２－１　風速度数分布（境港局、R07 年度第 1～3 四半期まで）

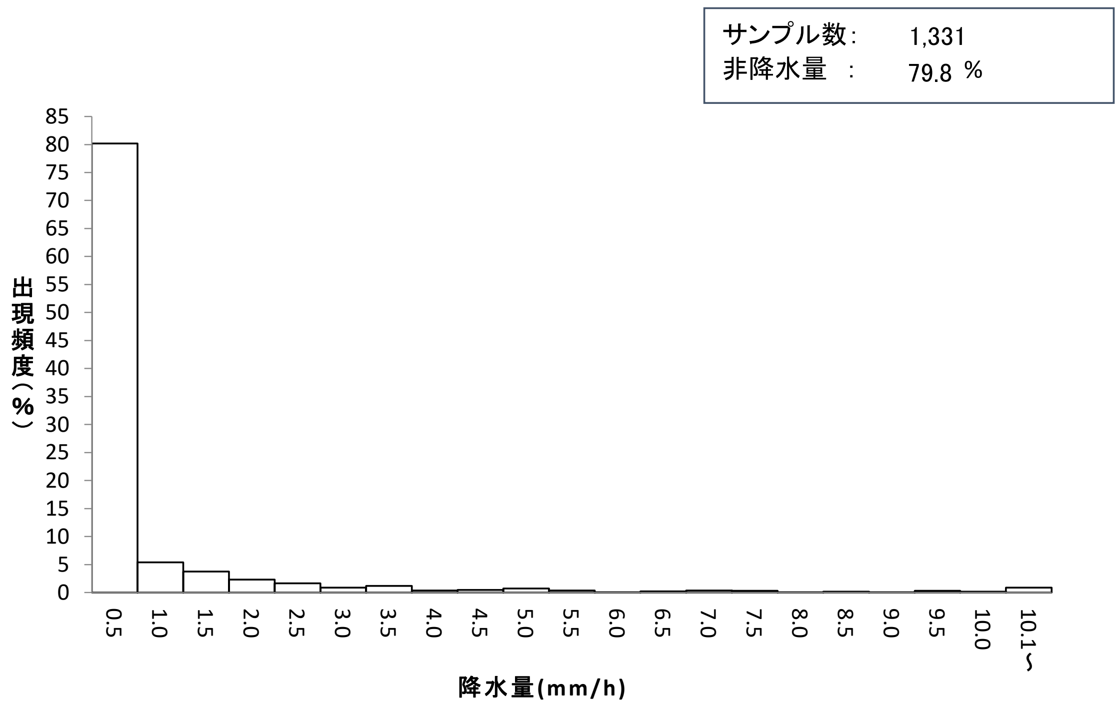
サンプル数:　6,588
平均風速　:　2.7　(m/s)



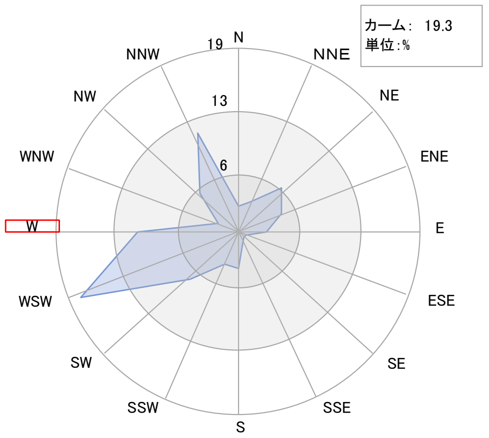
図Ⅳ－２－２　風速度数分布（米子局、R07 年度第 1～3 四半期まで）



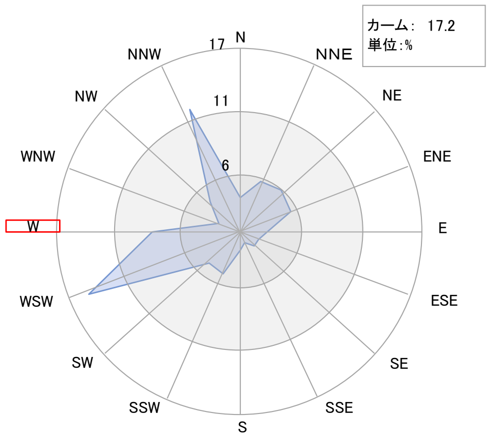
図Ⅳ－２－３　時間降水量（0.5 ㎜以上）度数分布（境港局、R07 年度第 1～3 四半期まで）



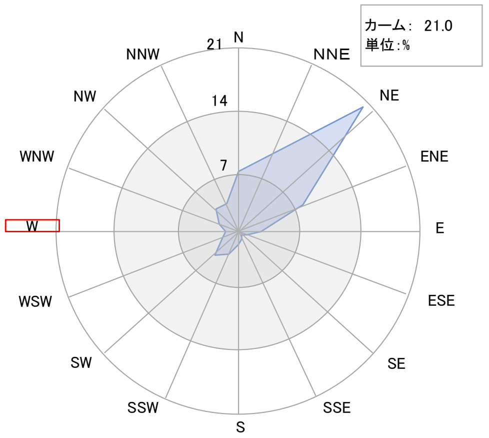
図Ⅳ－２－４　時間降水量（0.5 ㎜以上）度数分布（米子局、R07 年度第 1～3 四半期まで）



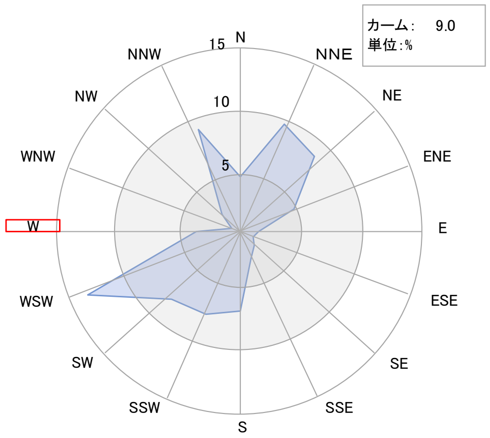
4月



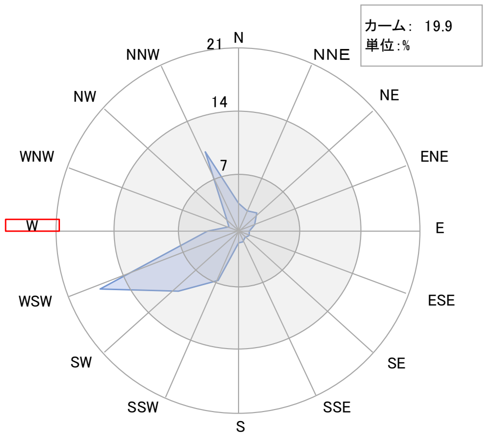
5月



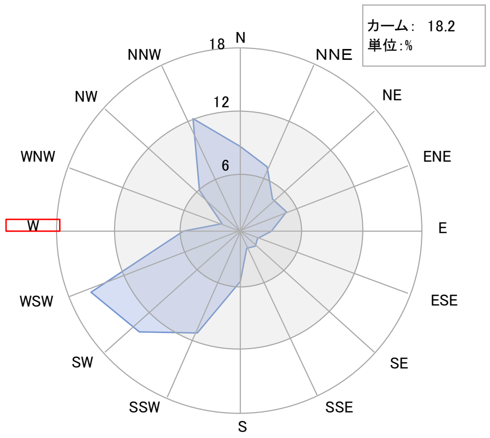
6月



7月



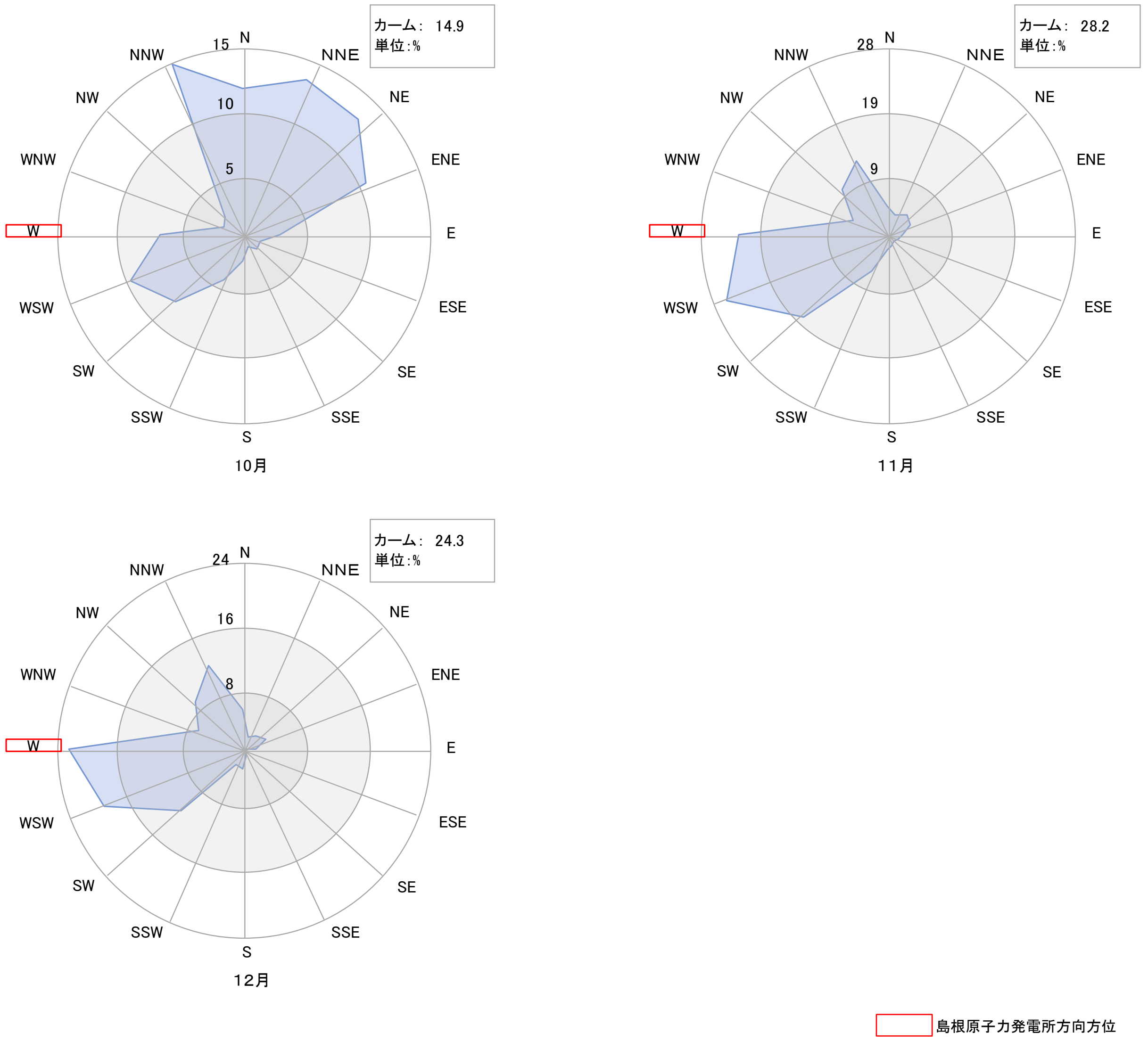
8月



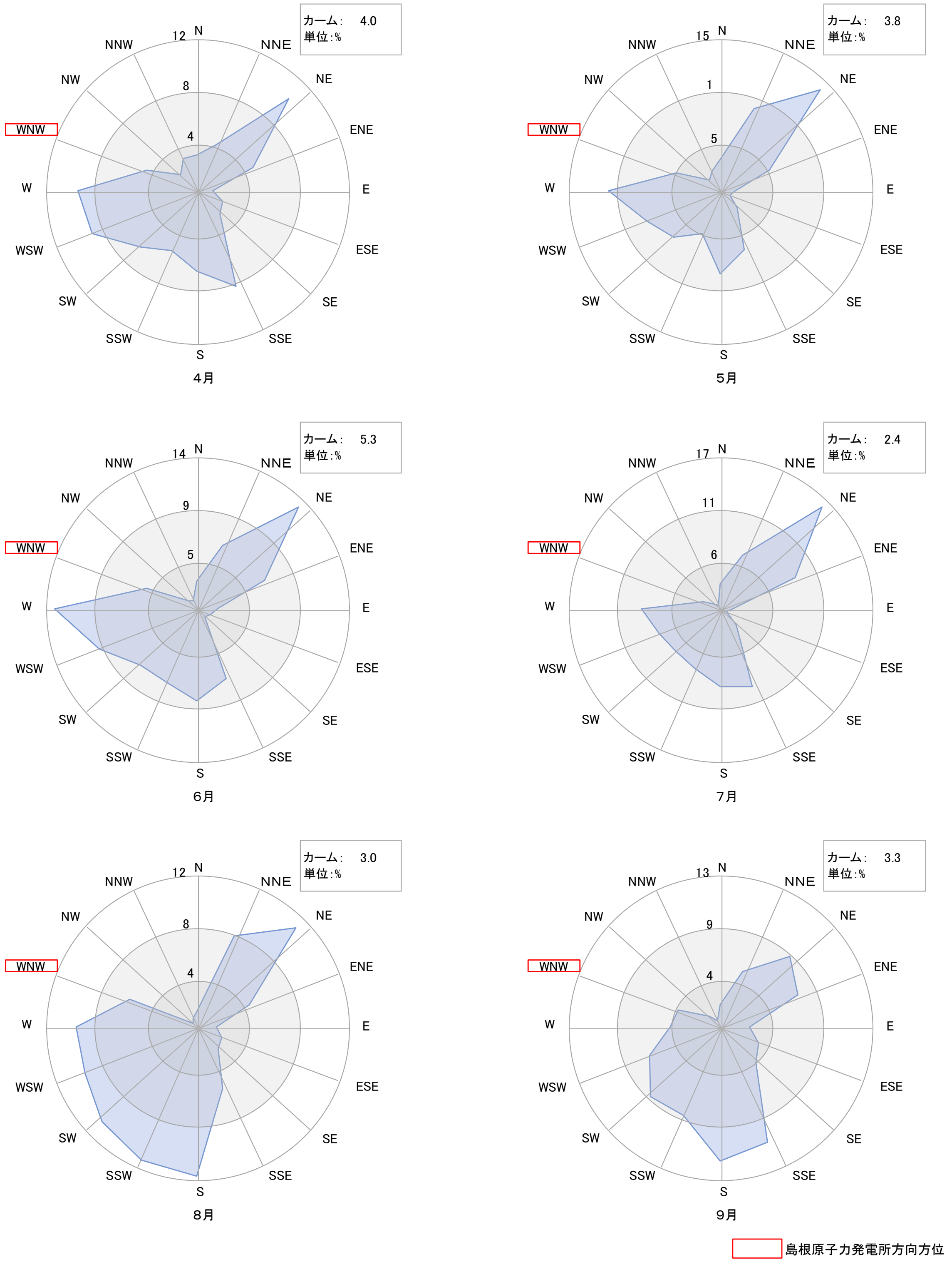
9月

島根原子力発電所方向方位

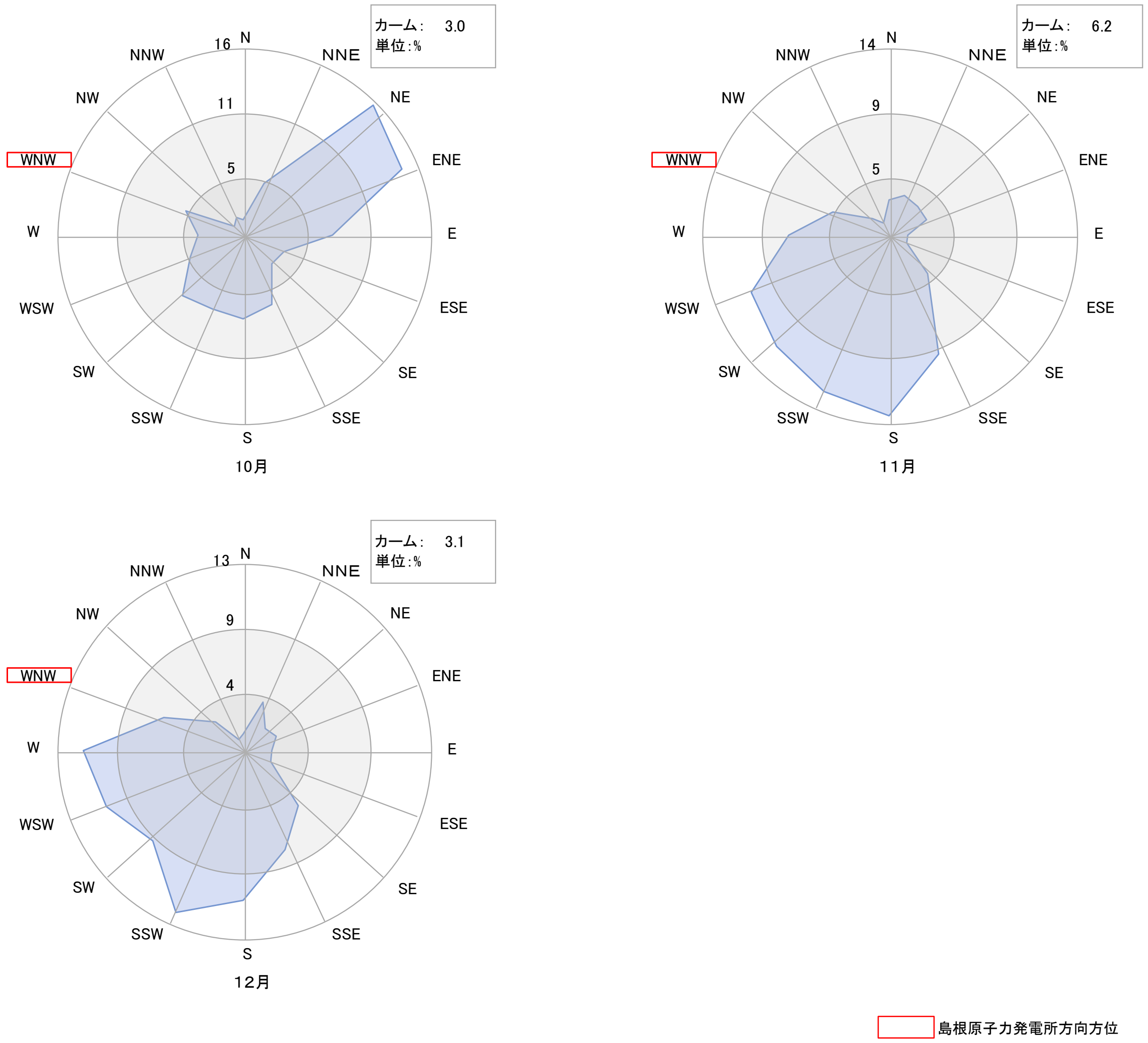
図Ⅳ－２－５－１　風配図（境港局、R07 年度第 1～3 四半期まで）



図Ⅳ－２－５－２　風配図（境港局、R07 年度第 1～3 四半期まで）



図Ⅳ－２－６－１　風配図（米子局、R07 年度第 1～3 四半期まで）



図Ⅳ－２－６－２　風配図（米子局、R07 年度第 1～3 四半期まで）

（２）人形峠環境技術センター周辺

表Ⅳ－２－３　風速、気温、湿度、降水量（木地山局、R07 年度第 1～3 四半期まで）

測定月	風速（m/s）		気温（℃）			湿度（%）		降水量
	最高値	平均値	最高値	最低値	平均値	最低値	平均値	(mm)
4 月	4.1	1.1	26.1	-1.6	10.7	26	74	88.0
5 月	5.0	1.2	30.0	3.9	15.5	27	76	137.5
6 月	4.4	1.1	32.7	11.3	21.4	27	81	161.0
7 月	3.8	1.2	34.0	18.3	25.9	44	81	61.0
8 月	2.5	0.7	34.2	16.7	25.2	44	87	141.0
9 月	3.2	0.8	32.1	13.2	22.3	47	90	233.5
10 月	3.5	0.7	26.7	3.4	15.8	44	90	238.5
11 月	3.1	0.7	18.1	0.6	8.7	46	86	78.5
12 月	5.2	0.8	16.5	-2.4	4.2	42	86	211.0
1 月								
2 月								
3 月								
年間								

表Ⅳ－２－４　日射量、放射収支量、積雪深さ（木地山局、R07 年度第 1～3 四半期まで）

測定月	日射量（MJ/m^2）		放射収支量(MJ/m^2)			積雪深(cm)		
	最高値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値
4 月	1.79	0.31	1.43	-0.14	0.14	0.00	0.00	0.00
5 月	1.78	0.33	1.99	-0.50	0.14	0.00	0.00	0.00
6 月	1.88	0.36	1.71	-0.11	0.16	0.00	0.00	0.00
7 月	1.85	0.41	1.64	-0.09	0.17	0.00	0.00	0.00
8 月	1.72	0.29	1.56	-0.10	0.12	0.00	0.00	0.00
9 月	1.66	0.22	1.37	-0.09	0.08	0.00	0.00	0.00
10 月	1.41	0.18	1.09	-0.10	0.06	0.25	0.00	0.10
11 月	1.19	0.15	1.99	-0.50	0.01	2.18	0.00	0.11
12 月	1.03	0.10	0.61	-0.12	0.00	40.82	0.00	4.09
1 月								
2 月								
3 月								
年間								

表Ⅳ－２－５　感雷（木地山局、R07 年度第 1～3 四半期まで）

測定月	感雷（回/h）		測定月	感雷（回/h）	
	最大値	平均値		最大値	平均値
4 月	0	0	10 月	0	0
5 月	0	0	11 月	1	0
6 月	0	0	12 月	1	0
7 月	1	0	1 月		
8 月	3	0	2 月		
9 月	1	0	3 月		
			年間		

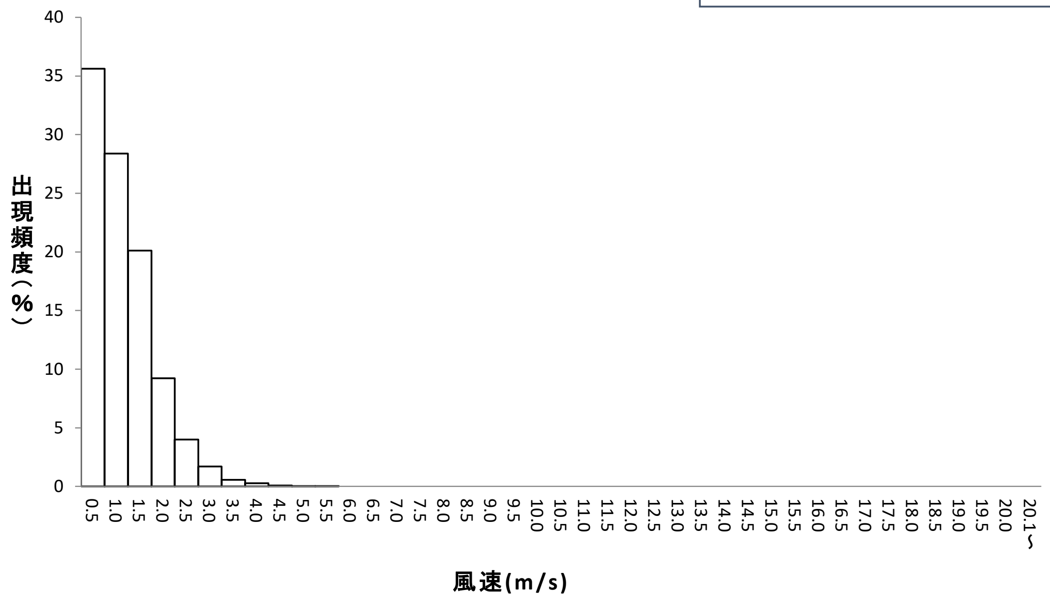
表Ⅳ－２－６　大気安定度出現頻度（木地山局、R07 年度第 1～3 四半期まで）

（単位：上段　時間、下段　%）

分類＼月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
A	51	65	86	108	56	41	23	6	0				
	(7)	(9)	(12)	(15)	(8)	(6)	(3)	(1)	(0)				
A-B	88	102	92	108	119	62	74	75	39				
	(12)	(14)	(13)	(15)	(16)	(9)	(10)	(11)	(5)				
B	59	53	71	55	68	87	70	80	49				
	(8)	(7)	(10)	(7)	(9)	(12)	(9)	(11)	(7)				
B-C	3	1	0	0	0	1	1	3	0				
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)				
C	8	4	5	9	1	2	3	1	8				
	(1)	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)				
C-D	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)				
D	245	318	295	209	296	362	375	232	423				
	(34)	(43)	(41)	(28)	(40)	(50)	(50)	(32)	(57)				
E	5	16	1	27	1	4	2	1	9				
	(1)	(2)	(0)	(4)	(0)	(1)	(0)	(0)	(1)				
F	2	9	4	9	0	0	0	1	2				
	(0)	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)				
G	259	168	166	219	203	161	196	315	214				
	(36)	(23)	(23)	(29)	(27)	(22)	(26)	(44)	(29)				
計	720	736	720	744	744	720	744	714	744				
	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)				

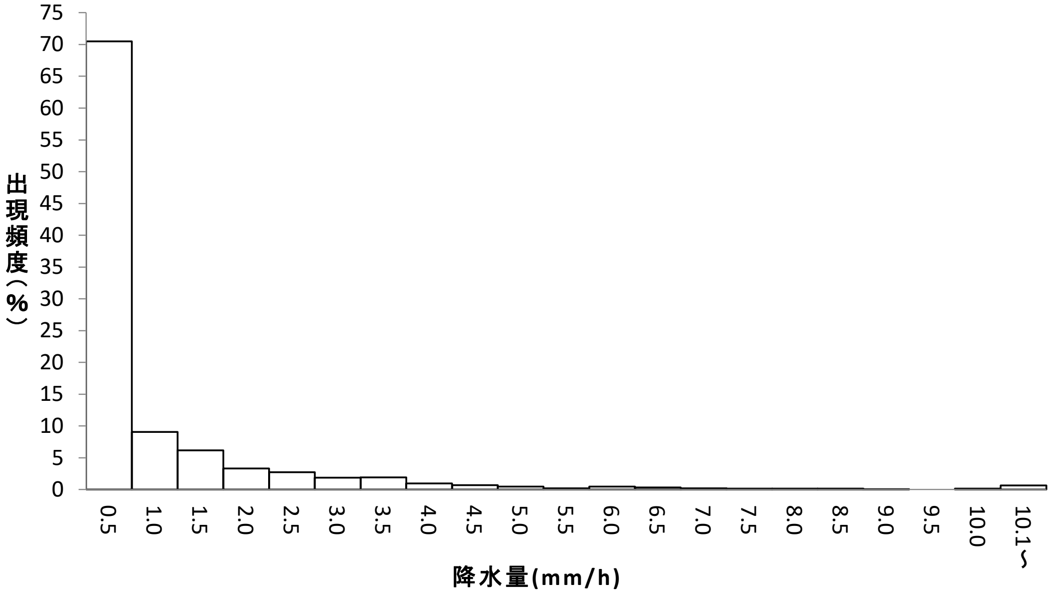
注：　A：強不安定、B：並不安定、C：弱不安定、D：中立、E：弱安定、F：並安定、G：強安定

サンプル数: 6,574
平均風速 : 0.9 (m/s)

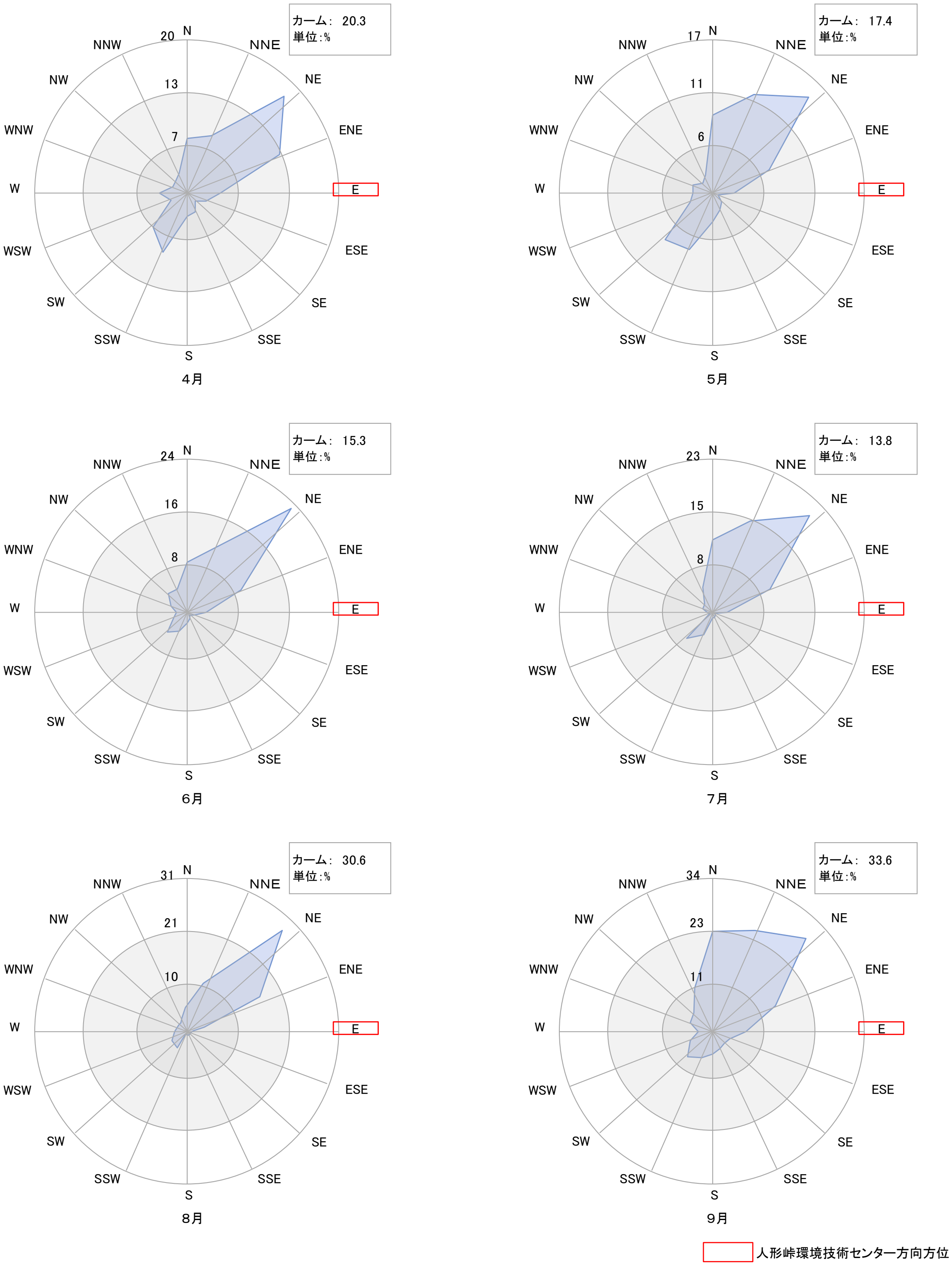


図Ⅳ－２－７　風速度数分布（木地山局、R07 年度第 1～3 四半期まで）

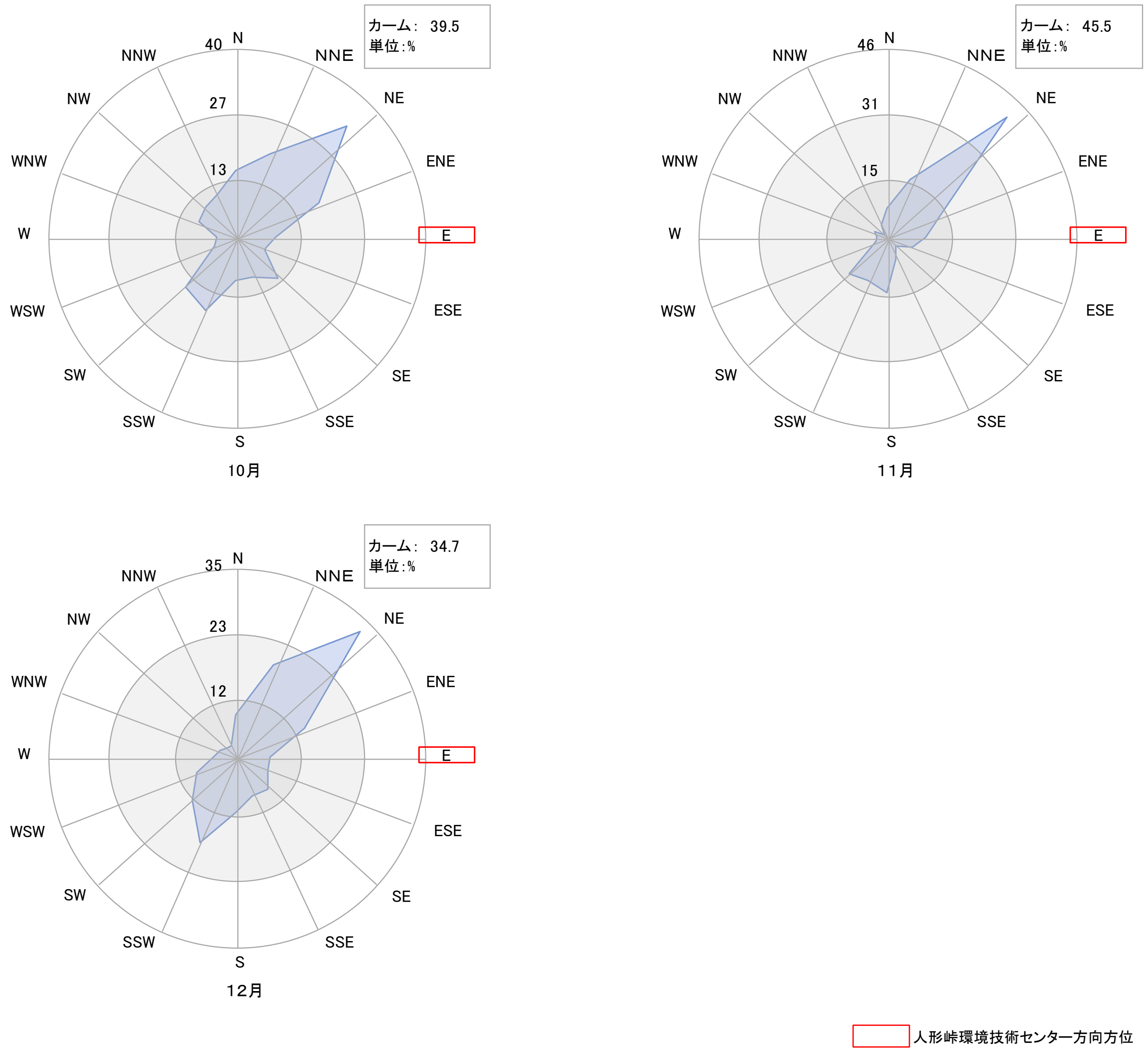
サンプル数: 1,569
非降水量 : 76.1 %



図Ⅳ－２－８　降水量（0.5 mm/h 以上）度数分布（木地山局、R07 年度第 1～3 四半期まで）



図Ⅳ－２－９－１　風配図（木地山局、R07 年度第 1～3 四半期まで）



図Ⅳ－２－９－２　風配図（木地山局、R07 年度第 1～3 四半期まで）